

令和5年度補正予算
省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業

(別冊)補助事業ポータル 2次公募用

2024年5月

補助金を申請及び受給される皆様へ

一般社団法人環境共創イニシアチブ(以下「SII」という。)が取り扱う補助金は、公的な国庫補助金を財源としており、社会的にその適正な執行が強く求められます。当然ながら、SIIとしても厳正に補助金の執行を行うとともに、虚偽や不正行為に対しては厳正に対処いたします。

本事業の補助金の交付を申請する方、採択されて補助金を受給される方は、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号。以下「補助金適正化法」という。)」及びSIIが定める「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金交付規程(以下「交付規程」という。)」をよくご理解のうえ、また下記の点についても十分にご認識いただいたうえで補助金受給に関する全ての手続きを適正に行っていただきますようお願いいたします。

- ① 補助金に関係する全ての提出書類において、いかなる理由があってもその内容に虚偽の記述を行わないでください。
- ② 偽りその他の不正な手段により、補助金を不正に受給した疑いがある場合には、SIIとして、補助金の受給者に対し必要に応じて現地調査等を実施します。
なお、事業に係る取引先(請負先、委託先以降も含む)に対して、不明瞭な点が確認された場合、補助金の受給者立ち会いのもとに必要な応じ現地調査等を実施します。その際、補助金の受給者から取引先に対して協力をお願いしていただくこととします。
- ③ ②の調査の結果、不正行為が認められたときは、当該補助金に係る交付決定の取消を行うとともに、受領済の補助金のうち取消対象となった額に加算金(年10.95%の利率)を加えた額をSIIに返還していただき、当該金額を国庫に返納します。また、SIIから新たな補助金等の交付を一定期間行わないこと等の措置を執るとともに当該事業者の名称及び不正の内容を公表することがあります。
- ④ 補助金に係る不正行為に対しては、補助金適正化法第29条から第32条において、刑事罰等を科す旨規定されています。あらかじめ補助金に関するそれら規定を十分に理解したうえで本事業の申請手続きを行うこととしてください。
- ⑤ SIIから補助金の交付決定を通知する前に、既に発注等を完了させた事業等については、補助金の交付対象とはなりません。
- ⑥ 補助事業を遂行するため、売買、請負その他の契約をする場合、若しくは補助事業の一部を第三者に委託し、又は第三者と共同して実施しようとする場合の契約(契約金額100万円未満のものを除く)に当たっては、経済産業省から補助金交付等停止措置又は指名停止措置が講じられている事業者を契約の相手方とすることは原則できません(補助事業の実施体制が何重であっても同様。)
- ⑦ 補助金で取得、又は効用の増加した財産(以下「取得財産等」という。)を、当該取得財産等の処分制限期間内に処分しようとするときは、事前に処分内容等についてSIIの承認を受けなければなりません。また、その際補助金の返還が発生する場合があります。
なお、SIIは、必要に応じて取得財産等の管理状況等について調査することがあります。
※ 処分制限期間とは、導入した機器等の法定耐用年数(減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年3月31日大蔵省令第15号)に定める年数)の期間をいう。(以下同じ)
※ 処分とは、補助金の交付目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、廃棄し、又は担保に供することをいう。
- ⑧ 補助事業に係る資料(申請書類、SII発行文書、経理に係る帳簿及び全ての証拠書類)は、補助事業の完了(廃止の承認を受けた場合を含む。)の日の属する年度の終了後5年間いつでも閲覧に供せるよう保存してください。
- ⑨ SIIは、交付決定後、交付決定した事業者名、補助事業概要等をSIIのホームページ等で公表することがあります。(個人・個人事業主を除く。)

本書は、令和5年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」(以下、「本事業」という。)における、事業区分(Ⅰ)工場・事業場型、(Ⅱ)電化・脱炭素燃転型、(Ⅳ)エネルギー需要最適化型の補助事業ポータル操作方法について説明する手引きです。

本事業の概要や、交付申請手続きの方法全般についての説明、及び補助事業ポータルのデータ入力完了(本書で説明する全ての手順完了)以降書類提出までの手順については、別途公開の「交付申請の手引き」を参照してください。

本書、公募要領のほか、関連する各手引き(下図「別途公開」参照)が用意されています。全ての関連する書類等をよくご覧いただいたうえで、交付申請を行ってください。全ての資料は、SIIホームページ(<https://sii.or.jp/>)内、本事業の「公募情報」よりダウンロードできます。

別途公開	令和5年度補正予算 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業 交付規程
	令和5年度補正予算 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業 公募要領(2次公募用)
本書	令和5年度補正予算 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業 交付申請の手引き(別冊) 補助事業ポータル(2次公募用)
別途公開	令和5年度補正予算 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業 交付申請の手引き(Ⅰ)工場・事業場型(Ⅱ)電化・脱炭素燃転型(Ⅳ)エネルギー需要最適化型(2次公募用)
	令和5年度補正予算 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業(別冊) 申請様式(2次公募用)

■ 本補助金を申請する際の注意事項

1. 交付申請することで補助金の交付が確定するわけではありません。
2. 交付申請後にSIIの審査があります。審査の過程で不足が判明した場合、SIIからの不備解消依頼にご対応いただく必要があります。スムーズな審査のため、【公募要領】、【交付申請の手引き】、ほか関連する書類をよく読み、不足のない書類を提出していただくようご協力をお願いします。
3. 交付申請にあたってはSIIが提供するシステム「補助事業ポータル」(以下「ポータル」という。)を使用します。
4. 交付申請においては、省エネルギー計算が必要です。
5. 事業者は、交付決定を受けた後に実績報告書を提出し、事業完了した後に成果報告書を提出する必要があります。また、更新後に補助対象設備の使用エネルギー量を実測するため、設備によっては別途計測器等が必要となる場合もあります。あらかじめご了承ください。



- 複数の事業所を申請する場合は、事業所毎に申請を行ってください。
- 契約、及び書類の作成は、必ず申請毎に行ってください。

(別冊)補助事業ポータル

補助金を申請及び受給される皆様へ
本書について

第1章 ポータル入力準備をする

- 1-1 申請に必要な環境、及び書類を確認する P. 5
1-2 ポータルのアカウントを取得する P. 7

第2章 ポータルの基本操作方法を知る

- 2-1 ポータルの基本的な使い方 P. 13
2-2 入力したデータを保存・修正する P. 14

第3章 全事業共通情報を登録する

- 3-1 申請情報の登録 P. 17
3-2 【事業者1】情報の登録 P. 21
3-3 申請書詳細 画面ページについて P. 27
3-4 事業実施場所を登録する P. 28
3-5 事業者2以降の情報を登録する P. 29
3-6 実施場所詳細情報を登録する P. 30

第4章 (a)先進設備・システム情報を登録する

- 4-1 ポータル画面の構成を確認する P. 33
4-2 (a)先進設備・システム情報を登録する P. 34
4-3 (a)先進設備・システムの既存設備情報を登録する P. 36
4-4 (a)先進設備・システムの導入予定設備情報を登録する P. 38

第5章 (b)オーダーメイド型設備情報を登録する

- 5-1 ポータル画面の構成を確認する P. 41
5-2 (b)オーダーメイド型設備情報を登録する P. 42
5-3 (b)オーダーメイド型設備の既存設備情報を登録する P. 44

第6章 (c)指定設備情報を登録する

- 6-1 ポータル画面の構成を確認する P. 47
6-2 (c)指定設備情報を登録する P. 48
6-3 (c)指定設備の見積・発注先情報を登録する P. 56
6-4 補助金額の登録を行う P. 58
6-5 省エネルギー計算における裕度を設定する P. 60
6-6 データの整合性チェックを行う P. 61

第7章 (d)EMS機器情報を登録する

- 7-1 ポータル画面の構成を確認する P. 63
7-2 (d)EMS機器情報を登録する P. 64
7-3 EMS計測・制御情報を登録する P. 66

第8章 入力内容を最終確認し、書類を印刷する

- 8-1 入力内容を最終確認する P. 69
8-2 提出用書類を印刷する P. 71

第1章

ポータル入力の準備をする

1次公募で取得したポータルアカウントは、2次公募でも引き続き使用が可能です。

アカウント取得済みの場合は、本書P.13以降を参照し、申請書を新規作成してください。

※ 1次公募期間中に作成した申請書は、2次公募の申請書として使用することは出来ません。

1-1 申請に必要な環境、及び書類を確認する

本書は、本事業への交付申請にあたり使用するSII提供のシステム「補助事業ポータル」(以下「ポータル」という。)の操作方を説明しています。

本事業の全体的な説明については別途公開の「公募要領」を、本事業への交付申請手順については別途公開の「交付申請の手引き」を参照してください。

<PC環境(ポータルログイン用)>

- ・ 推奨環境は、以下のとおりです。

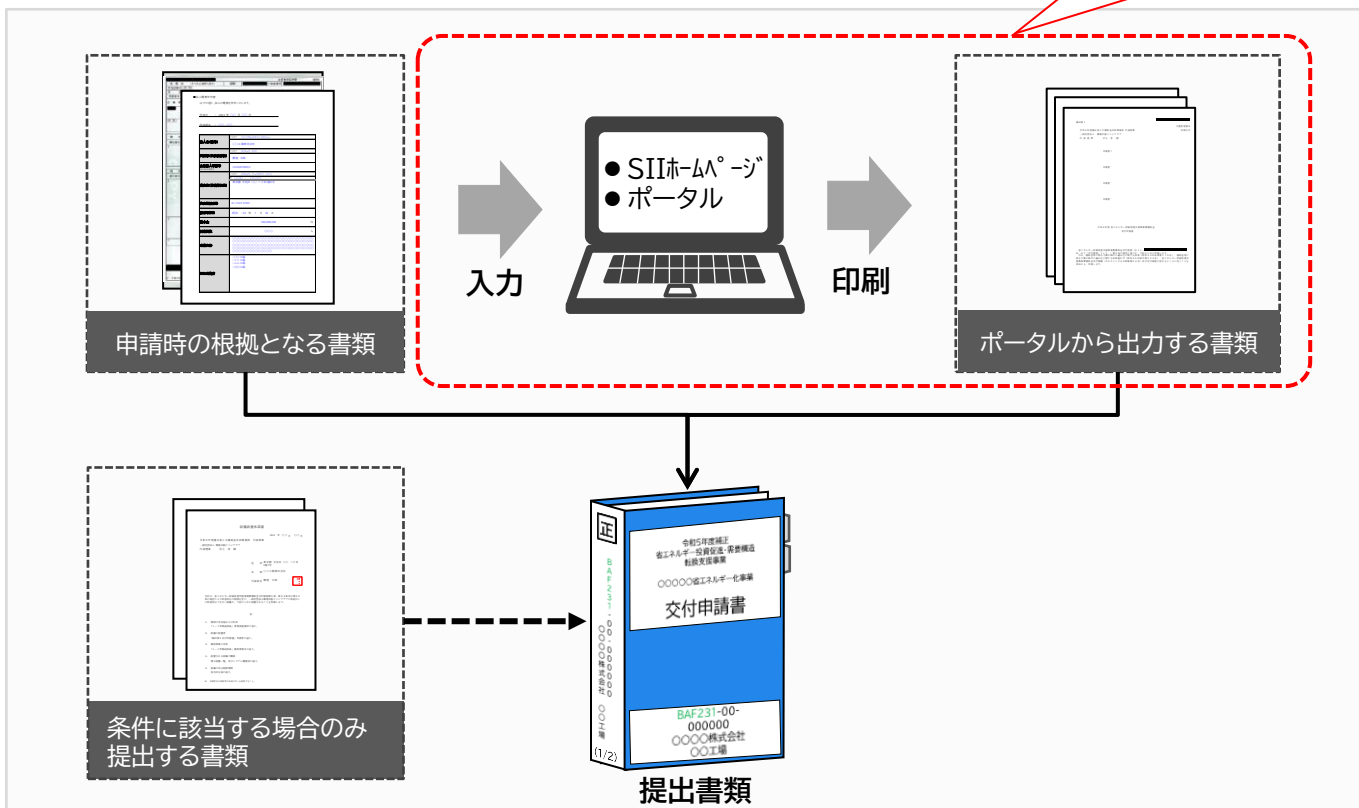
- ソフトウェア : Adobe Reader等のPDF閲覧ソフト
- 推奨ブラウザ : Google Chrome 最新バージョン

- ・ ポータルにログインするには、SIIが発行する「アカウント」(ユーザ名)とパスワードが必要です。アカウント取得手順については、「1-2 ポータルのアカウントを取得する」を参照してください。
- ・ ポータルに入力したデータをもとに、申請書類を作成、印刷します(ポータルから出力する書類)。

<申請時の根拠となる書類>

- ・ 別途公開の「交付申請の手引き」で準備した書類を、手元に用意します。
 - 社内で用意、又は役所等外部から入手する書類
 - 条件に該当する場合のみ添付する書類

【ポータルと提出書類との関係イメージ図】



ポータルについての補足事項

- **画面イメージについて**
本書には入力画面等のイメージを掲載していますが、お使いのPC環境により、文字の配置等が実際の画像と異なる場合があります。また、イメージは本書作成時のものであり、実際のポータルと異なる場合があります。
- **入力したデータの保存について**
データ入力画面において、項目名に「*」がついている項目は入力必須項目です。全項目の入力完了前であっても、項目名に「*」がついている項目を入力し、[一時保存]ボタンをクリックすることでその時点までの入力内容を保存できます。なお、「一時保存」をクリックするには、「*」がついている項目をすべて入力する必要があります。
※ 作業中はこまめに[一時保存]ボタンをクリックする等し、予期せぬデータの紛失にご注意ください。
- **エラー表示について**
未入力項目があったり、入力書式等に誤りがあった場合は、保存する際にエラーが表示されます。エラー表示内容に従ってデータを修正し、再度保存してください。

共同申請を行う場合のポータル登録方法

- ポータルに登録する「事業者」(申請者)の情報には、以下の2種類があります。

事業者1

事業者情報
(補助金受取事業者)

= 補助金の交付を受け、導入する補助対象設備を取得財産として所有する者

事業者2

事業者情報

= 当該補助対象設備を使用する者等、「事業者1」以外の事業者
(「事業者2」以外にも、複数の事業者を登録できます)

また、設置した補助対象設備を実際に使用する事業者を「**主体となる事業者**」といいます。ポータル登録時に表示される下記項目に、チェックを入れてください。

主体となる事業者*



※主体となる事業者の場合、チェックを入れてください

※ ポータル上、事業者情報は複数登録することができますが、「主体となる事業者」はそのうち1事業者のみです。

ポータルに登録する「事業者」のパターン

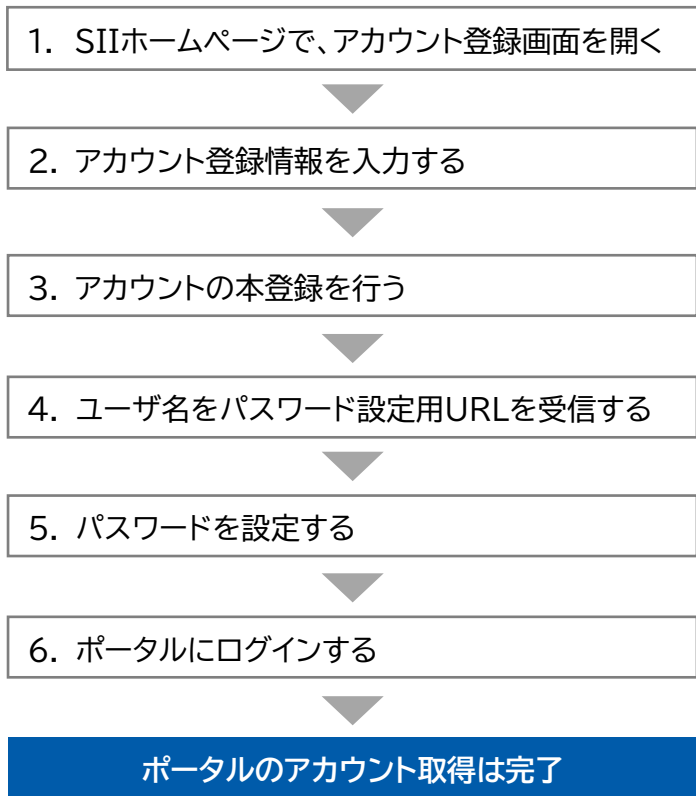
ポータルに登録する「事業者」のパターンを示します(★印が「主体となる事業者」となります)。これらのパターンにあてはまらない場合は、事前にSIIIにご連絡ください。

No.	申請のパターン	事業者1	事業者2	事業者3
①	申請者が単独で申請する場合(※)	設備使用者★	-	-
②	リース事業者を利用して申請する場合	リース事業者	設備使用者★	-
③	リース事業者、ESCO事業者を利用して申請する場合(一例)	リース事業者	設備使用者★	その他の申請事業者(ESCO事業者)
④	信託財産である設備で申請する場合	設備使用者★ (受託者)	設備使用者 (受益者)	-

※ 自ら設備を購入・更新し、補助金の交付を受ける場合です。

1-2 ポータルのアカウントを取得する

ポータルのアカウント(ユーザ名とパスワード)取得手順は、以下の通りです。



1次公募で取得したポータルアカウントは、**2次公募でも引き続き使用が可能です。**

アカウント取得済みの場合は、本書P.13以降を参照し、申請書を新規作成してください。

※ 1次公募期間中に作成した申請書は、2次公募の申請書として使用することは出来ません。

1. SIIホームページで、アカウント登録画面を開く



SIIのホームページ(<https://sii.or.jp/>)から本事業を選択します。

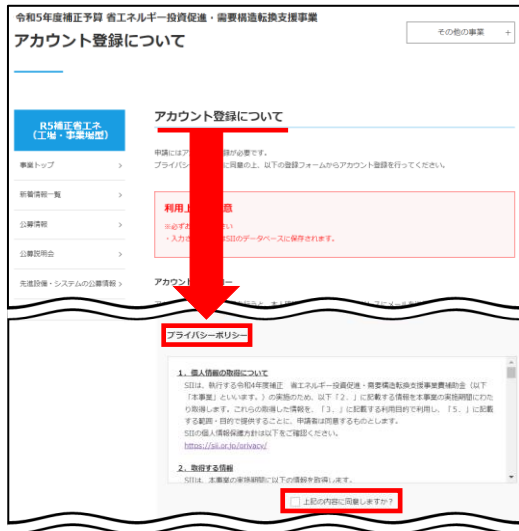
※ 本事業:「R5補正省エネ(工場・事業場型)」
(令和5年度補正予算
省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業)

※ 上記URLで画面が表示されない場合は、
「<https://sii.or.jp/koujou05r/>」をお試しください。



表示された画面の左側のメニューから「公募情報」をクリックします。
下方へスクロール後「**アカウント登録はこちら**」をクリックします。

第1章 ポータル入力への準備をする



表示された「アカウント登録について」画面を下方へスクロールし、「プライバシーポリシー」を表示します。

プライバシーポリシーを確認し、「上記の内容に同意しますか？」をクリックし、チェックを入れます（「同意する」の意）。

※ 同意いただけない場合、アカウント取得ができません。

2. アカウント登録情報を入力する



下方へスクロールし「アカウント登録フォーム」には、原則、**本事業全般についてSIIとの連絡の窓口となる補助事業者の担当者(主体となる管理担当者)**の情報を入力します。

【入力内容】

- ・ 会社名
- ・ 氏名
- ・ 郵便番号、住所
- ・ 電話番号
- ・ メールアドレス(ユーザ名を受け取るアドレス)

全ての入力が完了したら「**入力内容を確認する**」をクリックします。

※ 申請手続きの途中で対応が継続できなくなる等の事態が発生しないよう、**担当者の変更があった場合には、必ずSIIにご連絡ください。**



次に表示されたページで入力した内容に間違いがないことを確認したら「**アカウント情報の送信**」をクリックします。

※ 修正がある場合は「修正する」をクリックし、前の画面に戻って修正してください。

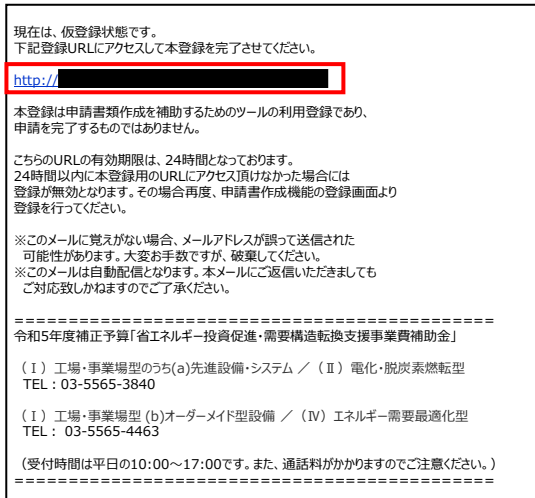
「アカウント登録フォーム(仮登録完了)」画面が表示されます。

※ この時点では、まだアカウントは発行されません。**およそ24時間以内**に登録されたメールアドレスにメールが届きますので、メールに掲載されるURLをクリックして、アカウント登録の手続きを進めてください。

※ あらかじめ「@sii.or.jp」からのメールを受信できるよう、設定を確認しておいてください。

第1章 ポータル入力への準備をする

送信されるメール(イメージ)



SIIから送信されるメールのタイトルと、送信元メールアドレスは、以下の通りです。

(メール本文のイメージは、左図を参照してください)

●送信メール件名:
[SII]令和5年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」ポータルサイトの仮登録を受け付けました。

●送信元メールアドレス:
regist@sii.or.jp

3. アカウントの本登録を行う

<本登録完了画面イメージ>



受信したメール本文に記載のURLをクリックします。「アカウント登録フォーム(本登録完了)」画面が表示されたら、アカウント登録は完了です。

「ユーザー名」と「パスワード設定用URL」がメールで届きますので、お待ちください。(メールが送信されるのは、約1日後です)

※ メール受信後24時間以内にURLをクリックしなかった場合や、本画面が表示されない場合は、アカウントを取得できません。必ずURLをクリックし、当該画面が表示されることを確認してください。

4. ユーザ名とパスワード設定用URLを受信する

この度、「省エネ事業（補正予算）」補助事業ポータルをご用意いたしましたので、ご案内いたします。

ユーザ名とパスワードをもとに、以下のURLから事業者情報をご確認頂けます。

<https://sii-or-my.site.com/shoeneh>

ユーザ名: [REDACTED]

※このURLをブラウザの「お気に入り」に登録頂けると便利です。
※ページアドレス(URL) が2行以上で表示されている場合は、コピー+貼り付けでブラウザに入力(1行表示)していただくことをおすすめいたします。
※ポータルへのログインはパソコンをお使いください。
※初回の利用開始時のみ、以下のURLからご自身で新しいパスワードを設定する必要があります。

パスワード設定用 URL

このメールアドレスは送信専用アドレスとなります。
お問い合わせは、環境共創イニシアチブのお問い合わせ窓口までお願い致します。

- 登録したメールアドレスに、ユーザ名、及びパスワード設定用のURLが記載されたメールが届きます。

※ メールの受信を確認できない場合は、迷惑メールフォルダ等に振り分けられていないか確認してください。

- 送信メール件名:
[SII]「省エネ事業(補正予算)」補助事業ポータルID(ユーザ名)発行のご連絡

- 送信元メールアドレス:
noreply01@sii.or.jp

ブラウザに入力(1行表示)していただくことをおすすめします。

※ ポータルへのログインはパソコンをお使いください。

※ 初回の利用開始時のみ、パスワード設定用URLからご自身で新しいパスワードを設定する必要があります。

初めてログインする際は、パスワードを設定する必要があります。
メール本文内2つ目のURLをクリックし、パスワード設定を行います。

5. パスワードを設定する

sii 省エネルギー投資促進・需要構造転換事業費補助金
省エネルギー投資促進事業費補助金

パスワードを変更する

[REDACTED]@geh.sii.or.jpの新しいパスワードを入力してください。少なくとも次のものを含めてください:

- ✔ 8文字以上
- ✔ 1個以上の文字
- ✔ 1個以上の数値

* 新しいパスワード

..... 有効

* 新しいパスワードの確認

..... 一致

パスワードを変更

パスワードの最終変更日: [REDACTED]

- 手順4で受信したメールに記載されたパスワード設定用のURLをクリックしてパスワードの設定画面を表示します。

※ パスワードは任意の文字列で設定できます。

※ セキュリティ保護のため、8文字以上で数字と文字列を組み合わせるものをご設定してください。

※ 文字列は半角で入力してください。大文字と小文字は区別されます。

パスワードを設定すると、ホーム画面に遷移します。

6. ポータルにログインする

sii 省エネルギー投資促進・産業構造転換支援事業費補助金
省エネルギー投資促進支援事業費補助金

SIIから通知された「ID（ユーザ名）」「パスワード」を入力して
「ログイン」ボタンを押してください。

ユーザ名

パスワード

ログイン

パスワードをお忘れですか?

前ページ手順4で受信したメールの本文に記載されているログインURLをクリックし、表示された画面に「ユーザ名」、及び設定したパスワードを入力して、ポータルにログインします。

これで、ポータルのアカウント取得は完了です。

※パスワードを忘れた場合

2回目以降のログイン時、パスワードを忘れた場合は、再発行が必要になります。
ログイン画面の「パスワードをお忘れですか?」をクリックして、再発行手続きを行ってください。

sii 省エネルギー投資促進・産業構造転換支援事業費補助金
省エネルギー投資促進支援事業費補助金

パスワードをお忘れですか?

パスワードをリセットするには、ユーザ名を入力してください。

ユーザ名

キャンセル 次へ

【パスワード再発行手順】

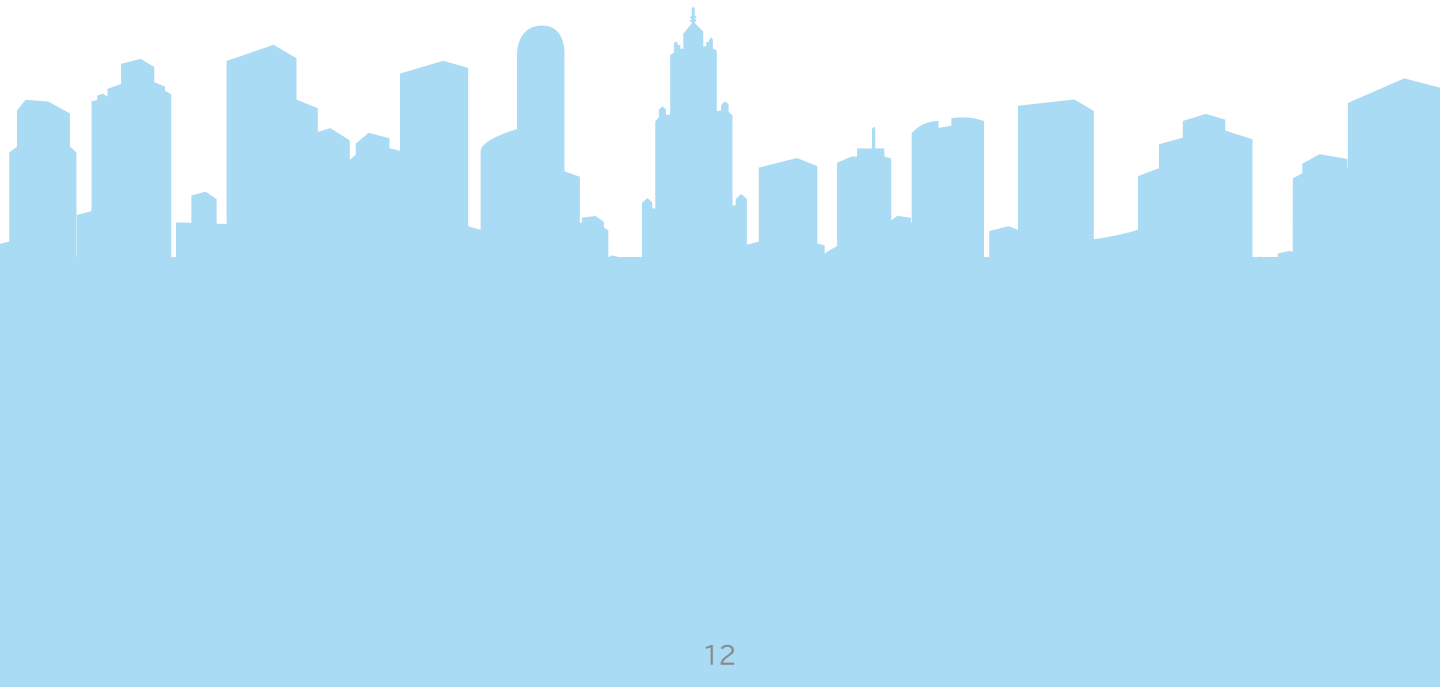
- ① ログイン画面の「パスワードをお忘れですか?」をクリックしてください。
- ② 「ユーザ名」を入力してください。
- ③ 登録したメールアドレスに、パスワード再設定用のURLが記載されたメールが届きます。

※「ユーザ名」は再発行できません。
「ユーザ名」を紛失した場合は、SIIホームページ内の本事業のページにて、再度アカウント登録をしてください。

※「ユーザ名」は担当者のメールアドレスではなく、
前ページ手順4のメールに記載された、
「●●●●●●@geh.sii.or.jp」です。

第2章

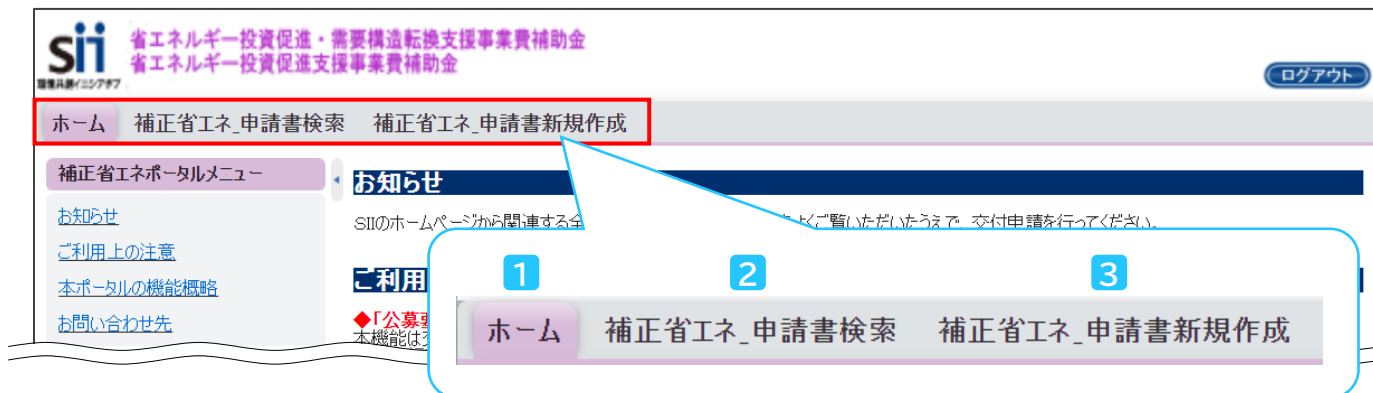
ポータルの基本操作方法を知る



2-1 ポータルの基本的な使い方

ポータルにログインすると、下記画面(1 ホーム)が表示されます。目的に合わせてタブをクリックし、必要な画面を開きます。

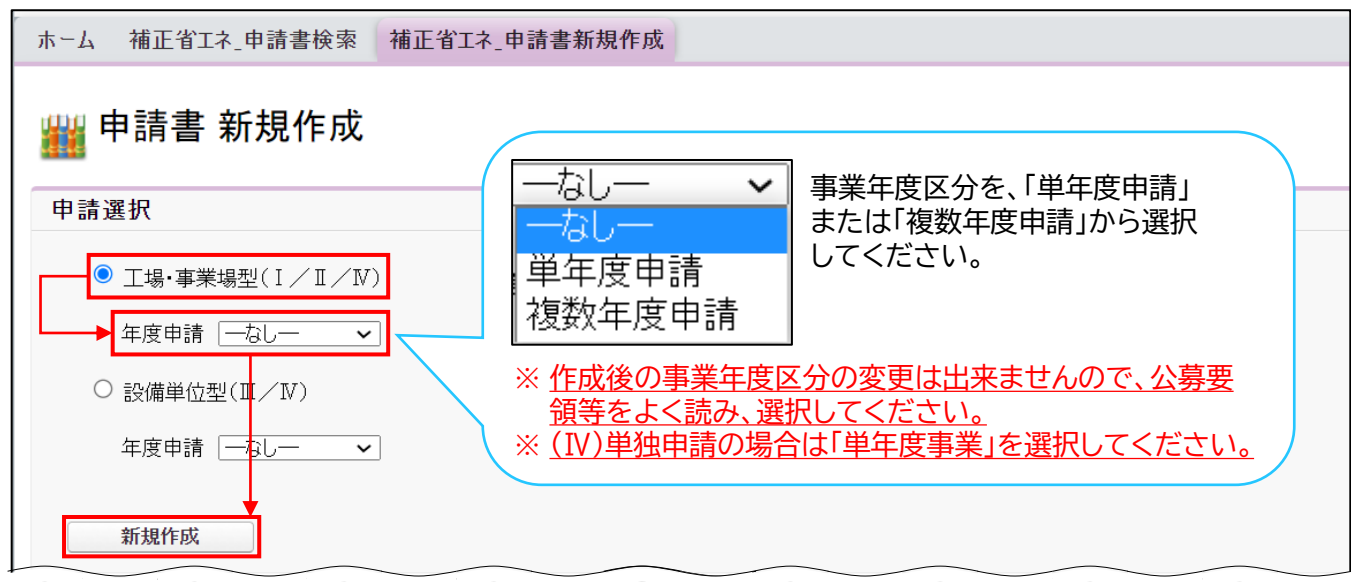
<ポータルログイン直後(ホーム画面)>



No.	項目名	概要
1	ホーム	本事業に関するお知らせ、注意事項等が表示されます。
2	補正省エネ_申請書検索	一度作成して保存した申請書情報を検索し、 続きを編集したり、修正するとき にクリックします。
3	補正省エネ_申請書新規作成	新たに申請書を作成するとき にクリックします。

初めて申請書を作成するときは、3 から始めます。クリックすると「申請書 新規作成」が表示され、申請情報の登録ができます。

< 3 申請書 新規作成 >



「申請書 新規作成」で[工場・事業場型 (I / II / IV)]及び[年度申請]をプルダウンから選択し、[新規作成]ボタンをクリックしてください。

※入力手順や項目の詳細については、本書「第3章」以降を参照してください。

2-2 入力したデータを保存・修正する

一定時間(約60分)補助事業ポータルを操作しないと、自動でログアウトされ、作成中のデータが消えてしまう場合があります。また、データの保存前にブラウザの「戻る」ボタンで、前の画面に戻った場合も、入力したデータが保存されず消えてしまう場合があります。

作業中はこまめに「一時保存」ボタンをクリックする等、データの保存に注意してください。

入力したデータを保存する

<確認/一時保存イメージ>

工事費	12,000,000 (円)	12,000,000 (円)	6,000,000 (円)
消費税	45,000 (円)	0 (円)	0 (円)
経費合計	64,680,000 (円)	58,800,000 (円)	29,250,000 (円)

入力途中で作業を中断したい場合

一時保存

入力途中で一時作業を中断したい場合は「一時保存」をクリックします。
⇒ それまでの入力内容が保存されます。

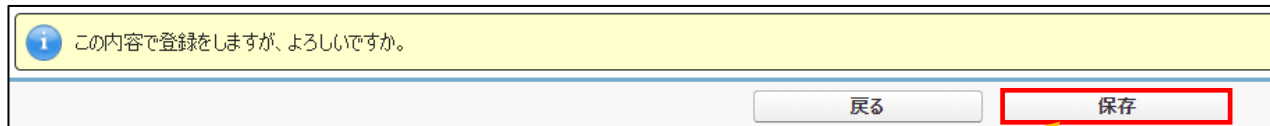
入力を終え、入力内容を保存したい場合

確認

必須項目の入力が全て完了したら「確認」をクリックします。
⇒ 入力したデータが登録され、(仮)の帳票が出力できるようになります。

画面上部に確認メッセージが表示されます。

「保存」または「一時保存」ボタンをクリックすると、入力したデータを保存して、画面を閉じます。



一時保存の場合はボタンが異なります

一時保存

<エラー/注意メッセージイメージ>

- ・ エラーがある場合は、保存する際に画面の上部にエラー内容、もしくは、注意メッセージが表示されます。
- ・ エラー内容を確認し、正しいデータに修正してから再度、「確認」→「保存」を実施してください。
※エラーが複数ある場合、画面の上部に全てのエラー内容がまとめて表示されます。

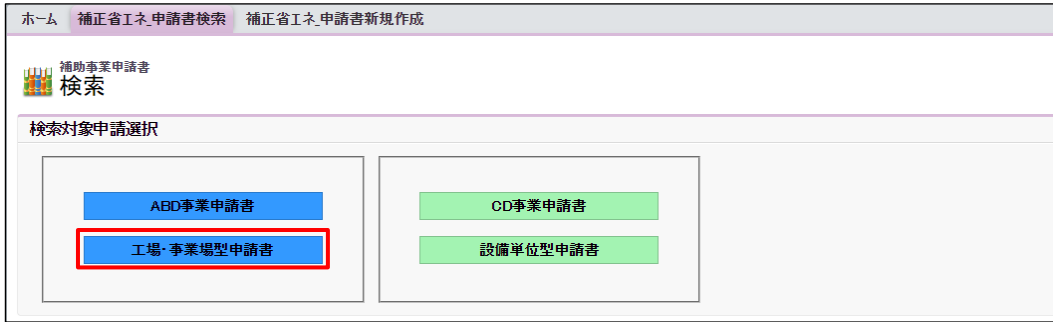
エラー

- ・ 先進設備・システム情報に誤りがあります。[a 先進設備・システム情報]ボタンにより先進設備・システム情報詳細画面に移動後、[編集]ボタンを押下して登録内容をご確認ください。
- ・ [全体経費情報][補助金合計額]が補助金限度額(100万円)へ達していません。

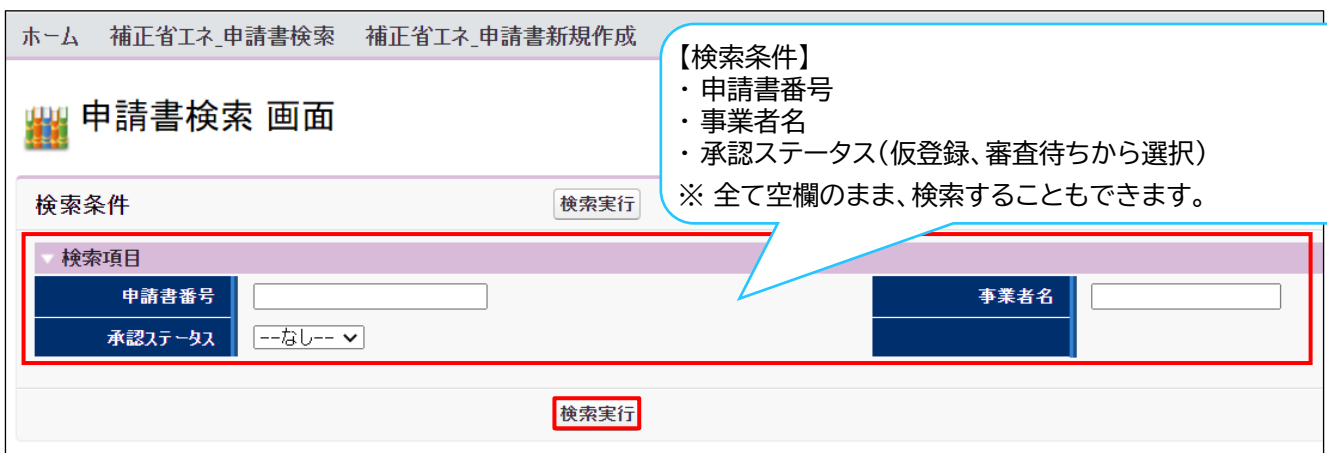
注意
選択された補助率(先進設備・システム) は、補助率要件 に達していませんが、よろしいですか？

登録した情報を編集する

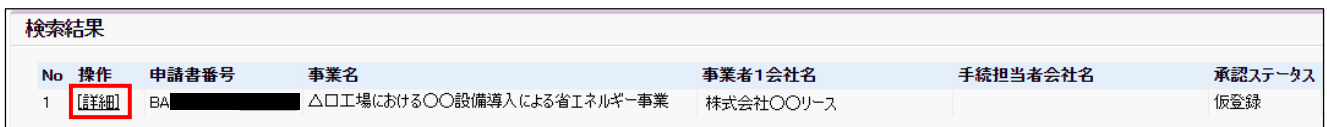
- ① ポータルにログインし、「補正省エネ_申請書検索」タブをクリックし、[工場・事業場型申請書]ボタンをクリックします。



- ② 表示される「申請書検索 画面」で申請書の検索条件を入力し、[検索実行]ボタンをクリックします。

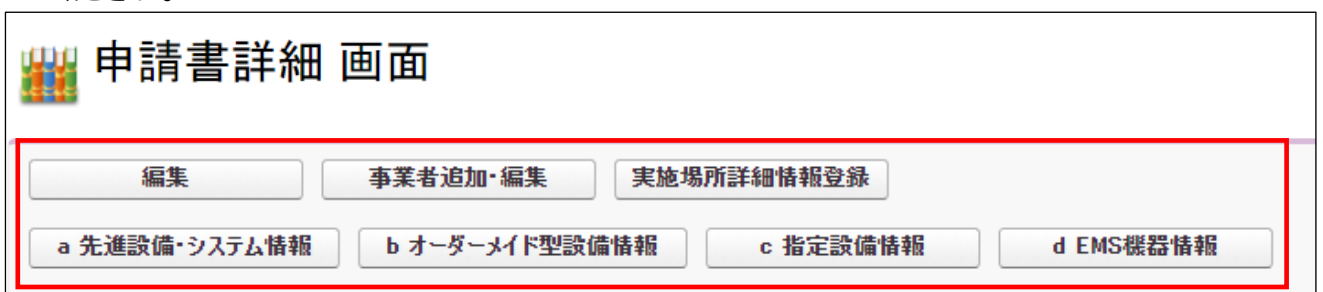


- ③ 表示された検索結果から、データを修正したい申請書の[詳細]ボタンをクリックします。



※ 1次公募期間中に作成した申請書は、2次公募の申請書として使用することは出来ません。

- ④ 「申請書詳細 画面」が表示されますので、編集したい項目に該当するボタンから、情報の編集を行ってください。



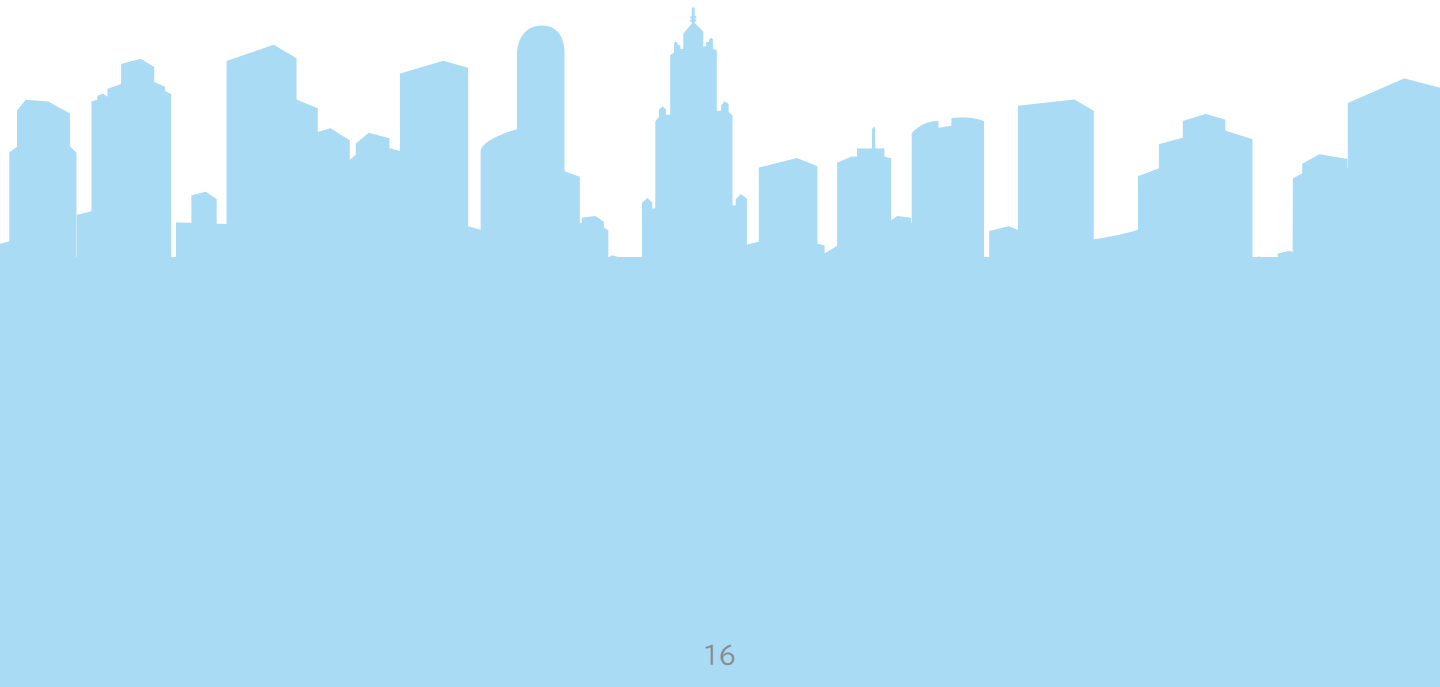
※ 上図の一部のボタンは、「申請書登録 画面」で「*」がついている項目(入力必須項目)を入力後、[一時保存]ボタンを押すことで表示されます。


※ 表示されるボタンは、申請区分や事業内容によって異なります。

※ 各ボタンの詳細についてはP.27「3-3 申請書詳細 画面ページについて」を参照してください。

第3章

全事業共通情報を登録する



 「エネルギー管理を一体で行う事業所」単位で申請してください。
同一事業者の申請であっても、所在地が異なる複数の事業所を1申請にまとめることはできません。

項目	No.	登録情報	概要
1 管理情報	1-1	交付申請日	交付申請日を入力します。 ※ 交付申請書を提出する日を入力してください(「交付申請書」(1枚目)の右上に印字されます)。 ※ 入力欄をクリックすると、カレンダーが表示されます。カレンダーから日付を選んで入力することもできます。
	1-2	文書管理番号	文書管理番号を入力します。 ※ 1事業者が2件以上の申請を行う場合、事業者内で識別可能な任意の文書管理番号を入力してください(申請が1件の場合は不要です)。
2 基本情報	2-1	導入設備 (補助対象設備)	導入予定の設備区分をクリックして選択します。 ※ 選択が完了したら「確定」ボタンをクリックしてください。 ※ 選択した導入設備区分により、表示される項目やボタンが異なります。 ※ 確定後に「編集」ボタンより再度編集し、選択を解除した場合、選択を解除した導入設備に関連するデータは全て削除されますのでご注意ください。
	2-2	補助率※	導入設備区分ごとに補助率を選択します。 ※ 公募要領をよく確認した上で、申請者の状況に応じた補助率を選択してください。選択した補助率での補助金計算が行われます。
	2-3	事業内容※	事業内容【単独事業/工場・事業場間一体省エネルギー事業】を選択します。 ※ 「複数事業者の連携事業」の場合も「工場・事業場間一体省エネルギー事業」を選択してください。 ※ 「工場・事業場間一体省エネルギー事業」以外の場合は、全て「単独事業」を選択してください。
	2-4	申請単位	申請単位【単独申請/共同申請】を選択します。 ※ 複数事業者で実施する事業の場合は「共同申請」を選択してください。
	<以下は、「複数年度事業」の場合のみ表示されます>		
	2-5	事業年度区分※	事業年度区分【複数年度事業(全体2年～4年)】を選択します。 ※ 選択が完了したら「確定」ボタンをクリックしてください。 ※ 選択した事業年度区分により、表示される項目が異なります。 ※ 確定後に「編集」ボタンより再度編集し、事業年数を変更した場合、選択を解除した年度に関連するデータは全て削除されますのでご注意ください。
	2-6	補助事業名	補助事業名を入力します。 ※ 補助事業の内容(導入予定設備、複数店舗で申請の場合は実施場所等)が分かるように、必ず「事業所名称」を含めて事業内容を入力してください。
	2-7	補助事業概要	補助事業概要を入力します。 ※ 導入予定設備をすべて含めた事業概要を明確・簡潔に入力してください。 ※ 採択された場合、この文章が事業内容として公開されます。申請者が公表したくない内容があれば伏せて入力してください。
	2-8	発電設備フラグ※	発電設備を含む場合はチェックし、該当する発電設備区分を選択します。 ※ 発電設備区分の違いについては公募要領P.31を参照
<以下は、「導入設備区分(d)」を含む事業の場合のみ表示されます>			
2-9	エネマネ事業者	2-1 で(d)を選択した場合、エネマネ事業者の情報を選択/入力します。 ※ 「エネマネ事業者手続担当有無」は自動でチェックが入ります。	

※ 登録情報に「※」が付いている項目は、導入設備区分(c)単独での申請の場合は表示されません。

「*」が付いている項目は、入力必須項目です。

3	補助事業工事期間	3-1	申請開始年	2024
			補助事業の完了予定年月日	2026/01/30
4	リース事業概要	4-1	リース契約*	有り <small>※リース事業者は、「事業者1」に登録してください。 ※リース事業者を利用して共同申請を行う場合は、リース契約内容申告書、リース料金計算書の2種類の書類を作成、提出してください 様式は、SDIのホームページから、様式をダウンロードして使用してください</small>
			初回リース契約期間*	180 ヶ月
5	ESCO事業概要	5-1	ESCO契約*	有り <small>※ESCO事業者を利用して共同申請を行う場合は、ESCO契約書(案)、ESCO料金計算書の2種類の書類を作成、提出してください ※書式は自由です</small>
			ESCO契約期間*	180 ヶ月
6	資金調達計画	6-1	本補助金*	【事業全体経費】 円 【備考】 <small>※【備考】は108文字以内で入力してください</small>
		6-2	自己資金*	【事業全体経費】 円 【備考】 <small>※【備考】は108文字以内で入力してください</small>
		6-3	借入金*	【事業全体経費】 円
		6-4	補助対象設備の担保の有無*	無し
		6-5	その他*	【事業全体経費】 円 【備考】 <small>※【備考】は108文字以内で入力してください</small>
		6-6	支払合計*	【事業全体経費】 円 【備考】 <small>補助事業に要する経費と一致しているか確認してください。 ※【備考】は108文字以内で入力してください</small>
		6-8	借入先金融機関銀行名	
		借入先金融機関支店名		
7	補助金及び交付申請に関する同意確認	7-1	同意確認1*	<input checked="" type="checkbox"/> 交付規程、公募要領の内容をよく理解したうえ、本ポータルに入力し、入力情報に虚偽や不正はありません。虚偽や不正があった場合は、交付決定後であっても補助金の一部もしくは全部が受給できなくなることを承諾のうえ、申請することに同意します。
		同意確認2*	<input checked="" type="checkbox"/> 本申請に当たっては、当社内(共同申請の場合、全ての社内)で必要な承認または確認手続きを行っております。	
8	事業実施に関連する事項	8-1	他の補助金との関係*	当該事業に対し、直接的あるいは間接的に国の他の補助金等を受けている、又は受ける予定があるか 無し
			過去の補助金との関係*	今回更新する前の設備に、過去に国から補助金の交付を受けているか 無し
			許認可、権利関係等事業実施の前提となる事項*	事業実施にあたり、許認可(届出)、権利使用(又は取得)等が前提となる事項があるか 無し
			その他、実施上問題となる事項*	前提となる事項がある場合、国や自治体から既に許認可(届出)、権利使用(又は取得)等を受けているか 無し
			その他、実施上問題となる事項*	その他、実施上問題となる事項があるか 無し

共同申請の場合、補助金の支払いを受ける事業者を入力してください

項目	No.	登録情報	概要
3 工事補助事業期間	3-1	補助事業の完了予定年月日	当年度の補助事業の完了予定年月日を入力します。【半角/数字】 ※ 交付決定された場合、ここで入力した予定日までに補助事業を完了する必要があります。 ※ 複数年度事業の場合は、最終事業完了予定年月日を入力してください。
4 事業リース情報	4-1	リース契約	リース契約の【有り/無し】を選択します。 >(有りの場合)【有り】を選択後、次項目でリースの契約期間を入力【半角/数字】 ※ リース契約が複数ある場合、契約期間にはその中の最長期間を入力してください。 >(無しの場合)【無し】を選択
5 事業ESCO情報	5-1	ESCO契約	ESCO契約の【有り/無し】を選択します。 >(有りの場合)【有り】を選択後、次項目でESCO契約期間を入力【半角/数字】 >(無しの場合)【無し】を選択
6 資金調達計画	6-1	本補助金	本補助金から調達予定とする金額を入力します。【半角/数字】 ※ 補助金交付申請額が補助金限度額の上限額を超える場合は、その上限額を入力してください。
	6-2	自己資金	自己資金から出費予定とする金額を入力します。【半角/数字】
	6-3	借入金	借入金がある場合はその金額を入力します。【半角/数字】 ※ 借入金が発生する場合は、6-8 に借入先金融機関情報を入力してください。
	6-4	補助対象設備の担保の有無	補助対象設備に担保を設定するか否か(【有り/無し】)を選択します。 ※ 6-3 が「0」円の場合は、この項目は必ず【無し】としてください。
	6-5	その他	国からの補助金以外の(自治体等からの)補助金等がある場合は金額を入力します。【半角/数字】
	6-6	支払合計	支払合計金額を入力します。【半角/数字】 ※ 6-1 ~ 6-5 の合計額を入力してください。 ※ 「補助事業に要する経費」と一致する必要があります。
	※複数年度事業の場合は、6 は事業全体(全年度)の経費を入力してください。		
7 確認同意	7-1	同意確認1 同意確認2	表示されている、補助金及び交付申請に関する同意確認内容をよく読み、同意する場合、チェックします。 ※ 「国の他の補助金等」については、公募要領P.27「>他の国庫補助金との重複」参照。
8 事項関連	8-1	事業実施に関連する事項	事業実施に関連する事項の【有り/無し】をそれぞれ選択します。 ※ 【有り】がある場合には、[添付29]を作成してください。全て【無し】の場合には作成不要です。

3-2 【事業者1】情報の登録

「申請情報」の入力を終えたら、ページを下方へスクロールし、事業者1の情報を登録します。

➤ 事業者1には【補助金の交付を受け、補助対象設備を所有する事業者】の情報を入力してください。

※ 補助対象設備を所有するリース事業者やESCO事業者は、事業者1に登録してください。

※ 商業登記簿謄本の情報に準じて入力してください。

「*」が付いている項目は、入力必須項目です。

9 事業者1 事業者情報 (補助金受取事業者)	9-1	主体となる事業者*	<input checked="" type="checkbox"/> ※主体となる事業者の場合、チェックを入れてください
	9-2	補助事業内での役割*	設備使用者 ※共同申請の場合、事業者ごとに事業における役割を選択してください
	9-3	会社法人等番号*	123456789012 <input type="button" value="法人情報検索"/> 会社法人等番号が見つかりません。 ※商業登記簿謄本に記載されている12桁の番号を入力してください ※「法人番号」の頭1桁を取ったものが、「会社法人等番号」になります ※個人事業主、法人格のない団体等(管理組合等)は「0」を入力してください
	9-4	特定事業者/特定連鎖 化事業者*	該当 ※設備使用者のみ入力してください ※特定事業者、特定連鎖化事業者又は認定管理統括事業者(管理関係事業者を含む)は「該当」を選択してください
	9-5	特定事業者番号	1234567 ※特定事業者、特定連鎖化事業者又は認定管理統括事業者(管理関係事業者を含む)の場合は必ず入力してください
	9-6	エネルギー管理 指定工場等番号	2345678
	9-7	郵便番号*	1234567 <input type="button" value="郵便番号検索"/> ※ハイフン(-)は入力しないでください
		都道府県*	東京都
		市区町村*	中央区 ※(例中央区)
		丁目・番地*	銀座一丁目1番1号 ※商業登記簿謄本3通り入力(例銀座一丁目1番1号)
	会社名カナ*	マルマルコウギョウ ※全角文字で入力してください ※必ず「法人格」を省いて入力してください	
	会社名**	株式会社〇〇工業 ※「法人格」は略さず正しく入力してください(例 株式会社〇〇)	
	代表者役職*	代表取締役 ※「商業登記簿謄本」と同じ役職を選択してください ※「その他」を選択した場合は、35文字以内で「商業登記簿謄本」と同じ役職を入力してください ※役職がない場合は、「役職なし」を選択してください	
	代表者氏名*	環境 太郎	
	代表電話番号*	1234567890 ※ハイフン(-)は入力しないでください	
10 事業者1 管理担当者情報 (補助金受取事業者)	10-1	主体となる管理担当者*	<input checked="" type="checkbox"/> 主体となる管理担当者とは、事業について最も把握している窓口の方が対象となります Sからの事業に関する連絡、提出物依頼、書類の送付などは原則として主体となる管理担当者宛てになります
	10-2	郵便番号*	1234567 <input type="button" value="郵便番号検索"/> ※ハイフン(-)は入力しないでください
		都道府県*	東京都
		市区町村*	中央区 ※(例中央区)
		丁目・番地*	銀座一丁目1番1号 ※(例、銀座一丁目1番1号)
		建物名・部屋番号	〇〇ビル 6F
		部署名	省エネルギー事業部
		役職	係長
	10-3	氏名カナ*	カンキョウ シロウ
		氏名*	環境 次郎
10-4	電話番号*	1234567890 (内線 1234) ※ハイフン(-)は入力しないでください	
	携帯電話番号	12345678901 ※ハイフン(-)は入力しないでください	
	FAX番号	1234567890 ※ハイフン(-)は入力しないでください	
	メールアドレス*	123456789@marumarukougyou.com ※携帯電話などのメールアドレスは登録できません	
10-6		123456789@marumarukougyou.com <input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="確認"/> ※確認のため再度メールアドレスを入力してください(コピー・貼り付け不可)	

項目	No.	登録情報	概要
9 事業者1 事業者情報(補助金受取事業者)	9-1	主体となる事業者	主体となる事業者(設備使用者)である場合にチェックします。 ※ 事業者1がリース事業者やESCO事業者の場合は、チェックは入れないでください。 ※ 「主体となる事業者」の考え方についてはP.6を参照してください。
	9-2	補助事業内での役割	補助事業内での役割をプルダウンメニュー【設備使用者/リース事業者/ESCO事業者/その他エネルギー使用者/その他】から選択します。 ※ 9-1 でチェックを入れている事業者は必ず[設備使用者]になります。 ※ 単独申請の場合は必ず事業者1が[設備使用者]になります。
	9-3	会社法人等番号	会社法人等番号を入力します。【商業登記簿謄本左上に記載の数字12桁】 ※ 入力後に「法人情報検索」をクリックすると「法人情報」に商業登記簿謄本上の情報が表示されます。 ※ 「法人番号」の頭1桁を取ったものが、「会社法人等番号」になります。
	9-4	特定事業者/特定連鎖化事業者	特定事業者、特定連鎖化事業者または認定管理統括事業者(管理関係事業者を含む)の【該当/非該当】を選択します。 ※ 「該当」を選択した場合、必ず 9-5 に特定事業者番号を入力してください。 ※ 9-4 は[設備使用者]のみ表示されます。
	9-6	エネルギー管理指定工場等番号	エネルギー管理指定工場の場合は入力必須です。
	9-7	住所・会社名・代表者等	商業登記簿謄本の会社情報を入力します。 ※ 会社名カナは法人格を入れずに入力してください。 例：一般社団法人 環境共創イニシアチブ → カンキョウキョウソウイニシアチブ 個人事業主の場合 ・会社名には「屋号」(無い場合は「個人事業主本人」の氏名)を入力してください。 ・代表者役職には「肩書き」を入力してください。※無い場合は「役職なし」を選択してください。 ・代表者氏名には「個人事業主本人」の氏名を入力してください。
	10 事業者1 管理担当者情報(補助金受取事業者)	10-1	主体となる管理担当者
10-2		住所	管理担当者が在籍する事業所の住所を入力します。 ※ 郵便物が届く住所を入力してください。
10-3		役職・氏名等	管理担当者の所属している部署名、役職、氏名カナ、氏名を入力します。
10-4		電話番号等	管理担当者の電話番号等を入力します。
10-5		メールアドレス	管理担当者のメールアドレスを入力します。 ※ 業務で使用しているものを入力してください。 ※ 携帯電話等のメールアドレス、グループアドレスは登録できません。 ※ ドメイン受信設定をされている方は、 @sii.or.jp からのメールが届くように設定してください。
10-6			管理担当者のメールアドレスを入力します(2回目)。 ※ 確認のため、10-5 と同じメールアドレスをもう一度入力してください。 ※ 誤入力防止の観点から、コピー&ペーストはできなくなっています。

▶ 共同申請の場合の事業者追加方法は、P.29を参照してください。

「*」が付いている項目は、入力必須項目です。

11-1	業種大分類*	製造業 ※主たる業種を選択してください	<p>< 11-1、11-2 について > 複数業種を営んでいる場合の主たる業種の判断については、直近年度の売上高等の最も大きい事業で判断してください。</p>
11-2	業種分類項目名*	金属製品製造業	
	業種中分類	24	
11-3	(実施場所の)業種大分類*	製造業 ※設備設置場所の業種を選択してください	
11-4	(実施場所の)業種分類項目名*	金属製品製造業	
	(実施場所の)業種中分類	24	
11-5	資本金*	1.00 億円	
11-6	従業員数*	50 人	
	中小企業/その他*	中小企業	
11-7	中小企業/その他*	<p>※みなし大企業の場合は「その他」を選択してください ※リース事業者の場合は「その他」を選択してください ※公募要領「企業体の定義」に則り選択してください</p>	<p>大企業を選択すると下に確認事項が表示されます。該当の申請要件を選んでください。</p>
11-8	みなし大企業に関する確認事項*	<input checked="" type="checkbox"/> 当社は、規定で定めるみなし大企業に該当しません ※申請要件として、SIIのホームページから「中小企業	<p>11-8</p> <p>申請要件*</p> <p>大企業 ※みなし大企業の場合は「その他」を選択してください ※リース事業者の場合は「その他」を選択してください ※公募要領「企業体の定義」に則り選択してください</p> <p>「その他」 ※設備使用者のみ入力してください 大企業の申請要件です 大企業の場合は「Aクラス事業者」、「Bクラス事業者」</p>
11-9	エネルギー管理指定工場の別*	第1種エネルギー管理指定工場 ※設備使用者のみ入力してください	
11-10	経営力向上計画または経営革新計画*	該当 経営革新計画 ※設備使用者のみ入力してください	
11-11	経営革新計画承認取得年*	2021 年(西暦)	
11	事業者1の業種及び担投情報(補助金受取事業者)	該当	
11-12	定期報告書の開示制度参画企業*	該当 ※設備使用者のみ入力してください ※申請要件として、特定事業者等の場合は「該当」である必要があります	
11-13	省エネ診断*	該当 ※設備使用者のみ入力してください ※経済産業省所管の省エネルギー診断事業を受診した事業所の場合は、「該当」を選択してください ※対象の省エネルギー診断事業は公募要領をご確認ください	
11-14	ベンチマーク改善事業*	該当 ※設備使用者のみ入力してください ※「大企業」の場合は「非該当」としてください	
11-15	ベンチマーク対象業種*	1A 高炉による製鉄業	
11-16	CO ₂ 排出量 20万t以上の企業*	該当 ※設備使用者のみ入力してください	
11-17	GX リーグ参画企業*	該当 ※設備使用者のみ入力してください	
11-18	化石燃料の継続使用*	該当 ※設備使用者のみ入力してください	
11-19	サプライチェーンの温室効果ガス削減公表企業*	該当 ※設備使用者のみ入力してください	
11-20	中長期計画等記載事業*	該当 ※設備使用者のみ入力してください	
11-21	エネルギー集約型企业*	該当 ※設備使用者のみ入力してください	
11-22	地域経済牽引事業計画の承認事業(企業)*	該当 ※設備使用者のみ入力してください	
11-23	パートナーシップ構築宣言*	該当 ※設備使用者のみ入力してください	
11-24	エネルギー転換事業*	非該当 ※事業者1のみ入力してください	<p>11-25</p> <p>エネルギー転換事業が【該当】の場合 エネルギー転換種別が表示される</p> <p>エネルギー転換種別 【事業者1のみ入力してください】</p> <p>選択可能 選択済み</p> <p>廃油 廃油の95%コンデンサ付(HGL) 揮発油(ガソリン) アーク 液化石油ガス 灯油 軽油 重油</p> <p>エネルギー転換種別 選択済み 選択済み</p>
11-26	定期報告書電子申請事業*	該当 ※設備使用者のみ入力してください	
11-27	年間1,500kWh以上該当企業*	該当 ※設備使用者のみ入力してください	

項目	No.	登録情報	概要
11 事業者1	11-1	業種大分類	「事業者1」の業種大分類を選択、11-2 には業種分類項目名を選択します。
	11-3	(実施場所の)業種大分類	事業実施場所の業種大分類を選択、11-4 には業種分類項目名を選択します。 【共同申請の場合は各事業者で同一入力】

項目	No.	登録情報	概要
11 事業者1 業種および規模情報	11-5	資本金	「事業者1」の資本金を入力します。 ※ 1億円以下の場合、小数で入力してください。(例:900万=0.09億) ※ 資本金制度のない法人の場合は、「基本金」「基金」等、「資本金」に当たる金額を入力してください。
	11-6	従業員数	「事業者1」の従業員数を入力します。 ※ 個人事業主の場合、その業務に携わっている方の人数を記載ください。
	11-7	中小企業/その他	「事業者1」の企業体を【中小企業/中小企業団体等/個人事業主/その他中小企業者等(会社法上の会社以外)/その他/大企業】から選択します。 ※ みなし大企業、リース事業者、ESCO事業者は【その他】を選択してください。 ※ 企業体の定義については、公募要領P.16~17参照
	11-8	みなし大企業に関する確認事項	11-7で【中小企業】を選択した場合、「みなし大企業に関する確認事項」にチェックします。※
	11-8	大企業の申請要件	11-7で【大企業】を選択した場合、申請要件に該当する項目を、【Sクラス事業者Aクラス事業者/ベンチマーク達成見込み事業】から選択します。※
	11-9	エネルギー管理指定工場の別	エネルギー管理指定工場の別【第1種/第2種/指定無し】を選択します。※
	11-10	経営力向上計画または経営革新計画	経営力向上計画または経営革新計画の【該当/非該当】を選択し、該当する場合【経営力向上計画】または【経営革新計画】のいずれかを選択します。※
	11-11	経営革新計画の取得年	11-10で「経営革新計画」を選択の場合は「取得年」を入力してください。※
	11-12	定期報告書の開示制度参画	開示制度への参画を宣言した特定事業者の【該当/非該当】を選択します。※ ※ 申請要件として、特定事業者の場合は「該当」である必要があります。
	11-13	省エネ診断	省エネ診断【該当/非該当】を選択します。※
	11-14	ベンチマーク改善事業	ベンチマーク改善事業【該当/非該当】を選択します。※ ※ 「該当」を選択の場合は 11-15 ベンチマーク対象業種を選択してください。
	11-16	CO ₂ 排出量20万t以上の企業	2020年度のCO ₂ 排出量が20万t以上の企業の【該当/非該当】を選択します。※
	11-17	GXリーグ参画企業	GXリーグへ参画している企業の【該当/非該当】を選択します。※
	11-18	化石燃料の継続使用	更新後の補助対象設備において化石燃料の継続使用の【該当/非該当】を選択します。※
	11-19	サプライチェーンの温室効果ガス削減公表企業	サプライチェーン全体で温室効果ガス(CO ₂)削減について対外的なコミットをしており、かつ、申請者自身が当該サプライチェーンに入っているか【該当/非該当】を選択します。※
	11-20	中長期計画等記載事業	中長期計画等記載事業【該当/非該当】を選択します。※
	11-21	エネルギー集約型企业	エネルギー集約型企业【該当/非該当】を選択します。※
	11-22	地域経済牽引事業(企業)	地域経済牽引事業計画の承認事業または地域未来牽引企業の【該当/非該当】を選択します。※
	11-23	パートナーシップ構築宣言	パートナーシップ構築宣言【該当/非該当】を選択します。※

概要の末尾に※の付いた項目は「設備使用者」のみ選択

※ 11-10 ~ 11-27 で「該当」を選択した項目については、添付書類を作成し提出してください。

項目	No.	登録情報	概要
11 事業者1	11-24	エネルギー 転換事業	エネルギー転換事業【該当/非該当】を選択します。 ※「事業者1」のみ選択してください。 ※「該当」を選択の場合は11-25 事業前、事業後のエネルギー転換種別を選択してください。非化石燃料の場合、種別は「その他」を選択してください。
	11-26	定期報告書 電子申請事業	定期報告書電子申請事業【該当/非該当】を選択します。※
	11-27	年間1,500kl 以上該当企業	年間のエネルギー使用量が原油換算1,500kl以上である事業者(特定事業者等)の【該当/非該当】を選択します。※

「※」が付いている項目は、入力必須項目です。

12
事業者1
決算情報

12-1
決算情報 (最新期)※

決算報告書等から転記してください
※ 直近1年分で単独決算の貸借対照表等から転記してください
※ 添付書類「決算書」の入力根拠部分にマーキングをしてください

資産合計 (円)
負債合計 (円)
純資産合計 (円)

※ 導入する補助対象設備の所有者が直近の年度決算において債務超過の場合は対象外です

13
生産情報

13-1 生産項目名(単位)※
生産量単位 (トン)
※ 単位は半角6文字もしくは全角3文字以内で入力してください(例:ton)
※ エネルギー使用量の原油換算表の生産量単位と一致させてください

13-2 生産量※

【事業前】	【事業後】
<input type="text" value="2,500"/>	<input type="text" value="2,500"/>

※ 添付書類「生産量実績の確証」を根拠として、「エネルギー使用量の原油換算表」の生産量a【事業後】と一致させてください
※ 添付書類「生産量実績の確証」を根拠として、入力してください

13-3 燃料評価単価※

※ 添付書類「燃料評価単価算出根拠」を根拠として、「エネルギー使用量の原油換算表」の燃料評価単価と一致させてください

14
全体省エネ効果

14-1 エネルギー使用量(k)※

【事業前】

14-2 処分制限期間 (法定耐用年数)※

年
※ 補助対象設備のうち、最長の処分制限期間を入力してください

15
四半期別発生予定額

補助事業に要する 経費の区分	補助事業に要する経費 (円)				計
	第1- 四半期	第2- 四半期	第3- 四半期	第4- 四半期	
設計費	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-
設備費	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-
工事費	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-
消費税	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-
計	-	-	-	-	-

16
全体経費詳細

【1年目経費】	補助事業に 要する経費(円)	補助対象経費(円)	補助金額(円)	表示経費の最新化
設計費	(円)	(円)	(円)	<input type="button" value="表示経費の最新化"/>
設備費	(円)	(円)	(円)	

複数年事業の場合、「四半期別発生予定額」は年度ごとに入力してください。

複数年事業

15

15-1

補助事業に要する 経費の区分	補助事業に要する経費 (円)				計
	第1- 四半期	第2- 四半期	第3- 四半期	第4- 四半期	
設計費	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0
設備費	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0
工事費	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0
消費税	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0
計	0	0	0	0	0

2年目

補助事業に要する 経費の区分	補助事業に要する経費 (円)				計
	第1- 四半期	第2- 四半期	第3- 四半期	第4- 四半期	
設計費	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0

25

項目	No.	登録情報	概要
12 事業 者 1 決算 情報	12-1	(最新期)	決算情報を入力します。(直近1年分必須) ※ 連結決算ではなく、単独決算を入力してください。 ※ 【添付2 決算書】の入力根拠部分に付箋を貼りマーキングをしてください。 ※ 直近の年度決算において債務超過の場合は申請できません。
13 生産 情報	13-1	生産項目名 (単位)※	生産量単位を入力します。 ※ ()に生産量の単位を入力してください。 ※ 単位は半角6文字、もしくは全角3文字以内で入力してください。 (例:トン、kg、m ³ 等)
	13-2	生産量※	【事業前】【事業後】の生産量を入力します。 ※ 【添付7 生産量実績の確証】を根拠として作成した、「エネルギー使用量の原油換算表」の生産量【a】(事業前、事業後)の値をそのまま入力してください。
	13-3	燃料評価 単価※	燃料評価単価を入力します。 ※ 「エネルギー使用量の原油換算表」【M】の値をそのまま入力してください。 ※ 【添付6 燃料評価単価算出根拠】に基づき算出された値であることを確認してください。
14 省エ ネ効 果 全体	14-1	エネルギー 使用量(kl) ※	【事業前】の事業場全体のエネルギー使用量を入力します。 ※ 各導入設備情報のページで算出した省エネルギー量を、「事業前」のエネルギー使用量から差し引いた値が「事業後」に自動で反映されます。
	14-2	処分制限 期間※	処分制限期間を入力します。 ※ 補助対象設備のうち、最長の処分制限期間を入力してください。
15 発生 予 定 額 四半 期別	15-1 15-1	補助事業に 要する経費 ※	当年度の補助事業に要する経費の四半期別発生予定額を入力します。 ※ 四半期ごとに発生する経費予定額を、費目ごとに入力してください。 ※ 合計額は自動で表示されます。 ※ 合計額が補助事業に要する経費と一致する必要があります。 ※ 複数年事業の場合は、年度ごとに入力してください。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 5px;">第1・四半期:4月～6月、第2・四半期:7月～9月、 第3・四半期:10月～12月、第4・四半期:翌年1月～翌年3月</div>
16 情報 全体 経費	16-1	—	事業全体の経費情報は、導入設備区分ごとに入力した内容が反映されます。 ※ 新規作成時は空欄になっています。 ※ 導入設備区分ごとの情報の入力方法については、P.32以降を参照してください。

※ 登録情報に「※」が付いている項目は、導入設備区分(c)単独での申請の場合は表示されません。

➤ 新規作成時は、入力が終了したら「一時保存」ボタンをクリックし、保存してください。(詳細 P.14)

※ 一時保存をすると「申請書詳細 画面」が表示され、導入設備情報等の入力が可能になります。

➤ 全ての情報の入力が完了したら「確認」→「保存」ボタンをクリックし、保存してください。(詳細P.69)

※ 保存が完了すると「申請書詳細 画面」から[交付申請書かがみ]等の帳票の確認が可能になります。

3-3 申請書詳細 画面ページについて

- ①～⑦のボタンは、前ページまでの「*」がついている項目(入力必須項目)を入力後、「一時保存」ボタンを押すことで表示されます。
- ⑧～⑪のボタンは、すべてのページの入力を終え、「確認」→「保存」ボタンを押すことで表示されます。
表示されるボタンは導入設備区分や事業内容によって異なります。

No.	ボタン名	概要
①	編集	第3章(P.16～)で登録した情報を、再度編集することができます。
②	事業者追加・編集	共同申請の場合に「事業者2以降」の情報を追加できます。 (入力方法は事業者1(P.21 ⑨～)を入力した場合と同様)
③	実施場所 詳細情報登録	P.17 ②-3 事業内容で「工場・事業場間一体省エネルギー事業」を選択した場合のみボタンが表示され、入力が必須となります。(詳細P.30)
④	a 先進設備・ システム情報	④～⑦はP.17 ②-1 導入設備で選択した内容によって、 表示されるボタンが異なります。 選択した導入設備区分ごとに入力してください。
⑤	b オーダーメイド型 設備情報	
⑥	c 指定設備情報	
⑦	d EMS機器情報	
⑧	※各種ポータル 出力帳票	ポータルから出力し、提出する資料です。 提出資料は「⑩入力完了」を押してから出力してください。 ※【仮】が付いた書類では申請できません。
⑨	実施場所入力	「設備使用者」に該当する事業者のみ 、事業実施場所の住所を入力してください。 (詳細P.28)
⑩	入力完了	入力内容を確定し、ポータル上に正式に登録されます。 入力完了処理を実施すると登録内容の変更ができなくなる ので、入力情報をよく確認し、「入力完了」を押してください。 ※ 入力完了後に修正が発生した場合は、SIIに連絡してください。
⑪	取下げ	作成したデータを取りやめたい場合、「取下げ」ボタンを押してください。 ※ 一時保存以降のデータで、申請を行わない場合には、必ずこの取り下げ処理を行ってください。

3-4 事業実施場所を登録する

全事業共通

「**設備使用者**」に該当する事業者のP.27「**9 実施場所入力**」をクリックし、事業実施場所の情報を登録します。

省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金
省エネルギー投資促進支援事業費補助金

ログアウト

ホーム 補正省エネ_申請書検索 補正省エネ_申請書新規作成

申請書詳細 画面

編集 事業者追加・編集 実施場所詳細情報登録

a 先進設備・システム情報 b オーダーメイド型設備情報 c 指定設備情報 d EMS機器情報

事業者一覧

全事業者情報 事業者1 株式会社〇〇工業 (事業実施場所)

設備使用者 **9 実施場所入力**



事業実施場所追加・編集 画面

戻る 保存 入力項目追加

* は入力必須項目です。
補助事業実施場所追加・編集

1-1 郵便番号 * 1234567 郵便番号検索
※ハイフン(-)は入力しないでください

1-2 都道府県 * 東京都

1-3 市区町村 * 中央区

1-4 丁目・番地 * 銀座一丁目1番1号
※丁目番地を入力してください。

1-5 事業所名称 * 〇〇工場
※(例) 〇〇支店、〇〇工場、〇〇ビル
※設備単体型(Ⅲ/M)において(o)指定設備の単独申請を行う場合、
補助事業名は事業所名称を入力すると自動で決定され、帳票に表示されます

1-6 ※ 削除する場合はチェックボックスをONにして[保存]ボタンを押してください

項目	No.	登録情報	概要
1 事業実施場所	1-1	郵便番号	郵便番号を入力します。 ※「郵便番号検索」ボタンをクリックすると、1-3 が自動で表示されます。
	1-2	都道府県	都道府県をプルダウンから選択します。
	1-3	市区町村	市区町村を入力します。
	1-4	丁目・番地	丁目・番地を入力します。
	1-5	事業所名称	事業所の名称を入力します。
	1-6	(削除)	実施場所住所を削除したい場合にチェックを入れ、「保存」をクリックします。
	1-7	入力項目追加	同一の事業者で事業実施場所が複数ある場合にクリックします。 ※工場・事業場間一体省エネルギー事業（複数事業者による連携事業ではない）

3-5 事業者2以降の情報を登録する

共同申請に該当

「共同申請」に該当する場合、P.27「**2** 事業者追加・編集」ボタンから、事業者2以降の情報を追加で登録します。

The screenshot shows the '申請書詳細画面' (Application Form Detail Screen) with a navigation bar at the top containing 'sii', '省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金', and 'ログアウト'. Below the navigation bar are links for 'ホーム', '補正省エネ申請書検索', and '補正省エネ申請書新規作成'. The main content area has a title '申請書詳細画面' and a row of buttons: '編集', '事業者追加・編集' (highlighted with a red box and a circled '2'), and '実施場所詳細情報登録'. Below this are four sub-section buttons: 'a 先進設備・システム情報', 'b オーダーメイド型設備情報', 'c 指定設備情報', and 'd EMS機器情報'.



The screenshot shows the '事業者追加・編集画面' (Add/Edit Business Screen) with a navigation bar at the top containing '戻る' (Back), '保存' (Save), and '入力項目追加' (Add Input Item, highlighted with a red box). A red box above the '入力項目追加' button contains the text '事業者が3者以上の場合' (When there are 3 or more businesses), with a red arrow pointing to the button. Below the navigation bar is a note: '*は入力必須項目です。' (Required input items are marked with *). The main content area is titled '補助事業者追加・編集' and contains a form with the following fields:

- 主体となる事業者 *: 商業登記簿謄本に記載されているとおり、住所・社名、代表者氏名を入力してください。 ※主体となる事業者の場合、チェックを入れてください
- 補助事業内での役割 *: 一なしー (dropdown menu) ※共同申請の場合、事業者ごとに事業における役割を選択してください
- 会社法人等番号 *: 法人情報検索 ※商業登記簿謄本に記載されている12桁の番号を入力してください ※「法人番号」の頭1桁を取ったものが、「会社法人等番号」になります ※個人事業主、法人格のない社団等(管理組合等)は「0」を入力してください
- 法人情報
- 特定事業者番号 ※特定事業者、特定連鎖化事業者の場合は入力してください
- エネルギー管理指定工場等番号
- 郵便番号 *: 郵便番号検索 ※ハイフン(-)は入力しないでください
- 都道府県 *: 一なしー (dropdown menu)
- 市区町村 *: ※(例 中央区)

 A blue sidebar on the left contains the text '事業者2 事業者情報'.

- P.21 **9** ~ を参考に、事業者2の情報を登録してください。
- 事業者が3者以上の場合は、「入力項目追加」ボタンから、適宜入力項目を追加し、登録してください。

3-6 実施場所詳細情報を登録する

工場・事業場間一体省エネルギー事業(連携事業を含む)に該当

「工場・事業場間一体省エネルギー事業(連携事業を含む)」の場合、P.27「**3** 実施場所詳細登録」ボタンから、詳細情報を登録します。

省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金
省エネルギー投資促進支援事業費補助金

「工場・事業場間一体省エネルギー事業(連携事業を含む)」の場合のみ入力必須

申請書詳細画面

3 実施場所詳細情報登録

a 先進設備・システム情報 b オーダーメイド型設備情報 c 指定設備情報 d EMS機器情報



事業実施場所詳細情報登録画面

戻る 保存 1-7 入力項目追加

事業情報

1-1 エネルギー使用量 【事業前】 10,000.0 kJ 【事業後】 9,770.0 kJ

1-2 実施場所全体備考

実施場所(事業前)情報

1-3 事業者名 --なし--

1-4 実施場所住所 --なし--

1-5 エネルギー使用量(kJ) 【事業前】 【事業後】

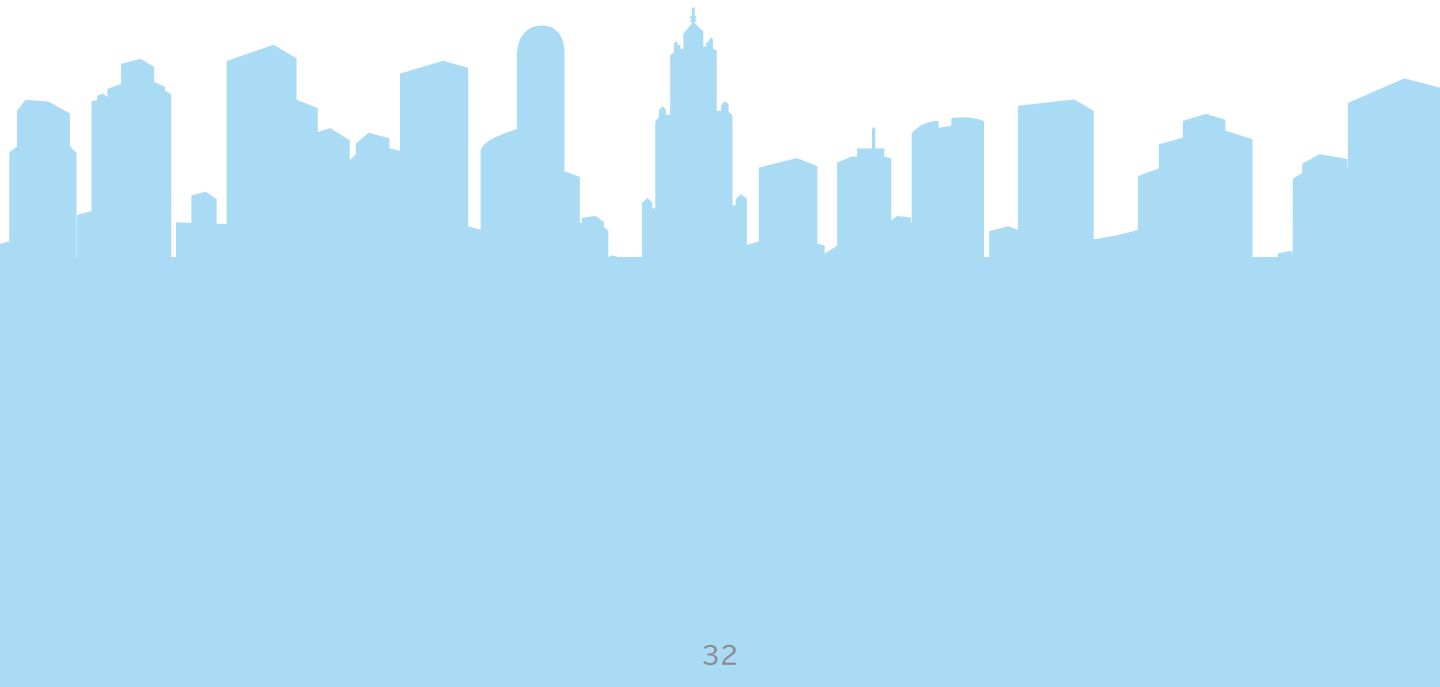
1-6 備考

※「エネルギー使用量の原油換算表」の原油換算量b【事業前】c【事業後】と一致させてください
※裕度(安全率)を乗じた後の【事業後】エネルギー使用量を入力してください

項目	No.	登録情報	概要
事業情報	1-1	エネルギー使用量	各導入設備区分の画面から入力された数値が自動的に反映されます。
	1-2	実施場所全体備考	本事業での事業内容を簡潔に記載します。
実施場所(事業前)情報1	1-3	事業者名	前項までに入力された「事業者名」をプルダウンから選択します。
	1-4	実施場所住所	前項までに入力された「実施場所住所」をプルダウンから選択します。
	1-5	エネルギー使用量	当該実施場所のエネルギー使用量を入力します。
	1-6	備考	本事業における当該実施場所の事業内容を簡潔に記載します。
—	1-7	入力項目追加ボタン	本事業を実施する工場・事業場の数に応じて、入力項目(情報2以降)を追加し、「情報2」以降は「情報1」と同様に入力します。

第4章

(a) 先進設備・システム情報を登録する



4-1 ポータル画面の構成を確認する

P.17 **2-1** で「(a)先進設備・システム」を選択した場合、P.27「**4** a先進設備・システム情報」ボタンから情報を登録します。

各種ボタンについて

省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金
省エネルギー投資促進支援事業費補助金

ホーム 補正省エネ_申請書検索 補正省エネ_申請書新規作成

先進設備・システム情報詳細 画面

戻る

1 編集 2 既存設備登録 3 導入予定設備登録 4 ファイル添付

先進設備・システム情報			
先進設備・システム 申請要件	申請要件	省エネルギー量	
	エネルギー使用量 (k)	【事業前】 10,000.0	【事業後】 7,000.0

No.	ボタン名	概要
1	編集	(a)先進設備・システムの申請要件、省エネ効果、経費情報を編集できます。 (詳細P.34)
2	既存設備登録	(a)先進設備・システムで更新する設備に対応した既存設備の登録ができます。 (詳細P.36)
3	導入予定設備登録	(a)先進設備・システムで導入する予定の設備の登録ができます。 (詳細P.38)
4	ファイル添付	(a)先進設備・システムにかかるファイルの添付ができます。 ファイル添付の手順については、該当ページに記載されているマニュアルをご確認ください。 《添付書類》 <ul style="list-style-type: none"> 「a-2-4 既存設備と導入設備の比較表(a)」 「添付33 原単位改善率計算シート」※原単位改善事業のみ

データ入力時に必要な書類

以下の書類等を手元に用意してから開始してください。

- 「a-2-2-4 エネルギー使用量の原油換算表(a)」
- 製品カタログ等
- 見積書
- 「a-2-4 既存設備と導入設備の比較表(a)」

次ページより、入力方法について説明します。

4-2 (a)先進設備・システム情報を登録する

「**1 編集**」ボタンから、(a)先進設備・システムの申請要件、省エネ効果、経費情報を登録します。

<(a)先進設備・システム情報編集 画面>

※は入力必須項目です。
先進設備・システム情報

1-1 で「原単位改善率」を選択した場合は表示が異なる

1 先進設備・システム申請要件	1-1 申請要件*	[省エネルギー]▼ ※申請要件を選択してください	
2 先進設備・システム省エネ効果	2-1 エネルギー使用量 (kL)*	【事業前】 10,000.0 【事業後】 7,000.0	※[エネルギー使用量の原油換算表]の原油換算量×【事業前】×【事業後】と一致させてください ※裕度(安全率)を乗じた後の【事業後】エネルギー使用量を入力してください
	2-2 非化石の要件対象	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2-3 非化石使用量*	500.0 (kL/年)	
	2-4 CO ₂ 削減量*	12,000.000 (t-CO ₂ /年)	
	2-5 裕度*	<input checked="" type="radio"/> 裕度を設定する <input type="radio"/> 裕度を設定しない	裕度とは、成果報告時の省エネルギー量が、交付申請時の計画省エネルギー量を未達成とならないようにするために、安全率として設定するものです
2-6 裕度を登録する理由*	<input checked="" type="radio"/> ①設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量、更新する範囲における既存設備の稼働条件とも把握しており、計測機器や設備自体の性能誤差を考慮する。 <input type="radio"/> ②更新する範囲における既存設備の稼働条件(負荷率、稼働時間等)を明確に把握できていない。 <input type="radio"/> ③設備更新により、設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量を把握できていない。 <input type="radio"/> ④設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量、更新する範囲における既存設備の稼働条件とも把握できていない。 ※「裕度を設定する」を選択した場合は、①～④のいずれかを選択してください ※裕度設定についての詳細は、公募要領の「交付申請時の裕度設定・成果報告時の補正計算」をご参照ください		

各項目の経費を入力してください
複数年度事業の場合は、当該年度の事業費について入力してください
補助金額は1円未満切り捨てで入力してください
見積書は導入設備区分毎に作成してください
(a)先進設備・システムの経費を入力してください
その他の導入設備区分にかかる費用は含めないでください

3 先進設備・システム経費情報	3-1	【1年目経費】*	補助事業に要する経費(円)	補助対象経費(円)	補助金額(円)	最大補助金額参考例(円)	表示経費の最新化
		設計費	3,000,000 (円)	3,000,000 (円)	2,000,000 (円)	2,000,000 (円)	
		設備費	7,000,000 (円)	6,000,000 (円)	4,000,000 (円)	4,000,000 (円)	
		工事費	7,000,000 (円)	6,000,000 (円)	4,000,000 (円)	4,000,000 (円)	
		消費税	1,700,000 (円)	0 (円)	0 (円)		
		合計	18,700,000 (円)	15,000,000 (円)	10,000,000 (円)		

戻る 一時保存 確認

複数年事業の場合、「経費情報」は年度ごとに入力してください。

複数年事業

3	3-1	【1年目経費】*	補助事業に要する経費(円)	補助対象経費(円)	補助金額(円)	最大補助金額参考例(円)	表示経費の最新化
		設計費	6,000,000 (円)	6,000,000 (円)	4,000,000 (円)	4,000,000 (円)	
		設備費	0 (円)	0 (円)	0 (円)	0 (円)	
		工事費	0 (円)	0 (円)	0 (円)	0 (円)	
		消費税	600,000 (円)	0 (円)	0 (円)		
		合計	6,600,000 (円)	6,000,000 (円)	4,000,000 (円)		

3		【4年目経費】*	補助事業に要する経費(円)	補助対象経費(円)	補助金額(円)	最大補助金額参考例(円)	
		設計費	0 (円)	0 (円)	0 (円)	0 (円)	
		設備費	28,200,000 (円)	28,200,000 (円)	18,800,000 (円)	18,800,000 (円)	
		工事費	0 (円)	0 (円)	0 (円)	0 (円)	
		消費税	2,820,000 (円)	0 (円)	0 (円)		
		合計	31,020,000 (円)	28,200,000 (円)	18,800,000 (円)		

第4章 (a)先進設備・システム情報を登録する

項目	No.	登録情報	概要
要申請	1-1	申請要件	申請要件を【省エネルギー率/省エネルギー量/原単位改善率】から選択します。
省エネ効果	2-1	エネルギー使用量	【事業後】のエネルギー使用量を入力します。 ※ [添付6 エネルギー使用実績の確証]を根拠として作成した、「a-2-2-4 エネルギー使用量の原油換算表」で算出した【c】(事業後)の値をそのまま入力してください。 ※ 【事業前】は P.25 14-1 で入力した値が反映されています。
	2-2	非化石の要件対象	非化石化を図る事業を申請する場合はチェックし、 2-3 に「非化石使用量」を入力します。 ※ 「非化石使用量」は「a-2-2-4 エネルギー使用量の原油換算表」と一致させてください。 ※ 「非化石使用量」の考え方については、公募要領P.69を参照してください。
	2-4	CO ₂ 削減量	CO ₂ の削減量を入力します。 ※ 「CO ₂ 削減量」は「a-2-2-4 エネルギー使用量の原油換算表」の「K 想定温室効果ガス削減量(CO ₂ 削減量)」と一致させてください。 ※ 負の数(マイナス値)の場合は0を入力してください。
	2-5	裕度	(a)先進設備・システムの省エネ効果の裕度設定の有無を選択します。 ・ 裕度を設定している場合、 2-6 の登録理由を①～④のいずれかを選択してください。 ※ 裕度設定の考え方については、公募要領P.35を参照してください。
経費情報	3-1 3-1	1年目経費	【1年目経費】を費目ごとに入力します。 ※ 「1-2 所要資金計画」をもとに、補助事業に要する経費、補助対象経費を費目ごとに入力してください。 ※ 上記で入力した補助対象経費に、P.17 2-2 で選択した補助率をかけて補助金額を算出し、入力してください。 ※ 補助事業に要する経費、補助対象経費の考え方については、公募要領P.30を参考にしてください。 ※ 複数年事業の場合は、年度ごとに入力してください。

「原単位改善率」の要件で申請する場合

1-1 で申請要件を「原単位改善率」を選択すると、**2** は以下のように表示されますので、「原単位改善率計算シート」をもとに、該当の項目を入力してください。

先進設備・システム情報

	申請要件*	原単位改善率 <small>※申請要件を選択してください</small>				
2	エネルギー使用量 (kl)*	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">【事業前】</td> <td style="width: 50%;">【事業後】</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10,000.0</td> <td style="text-align: center;">17,000.0</td> </tr> </table> <small>※「エネルギー使用量」は「a-2-2-4 エネルギー使用量の原油換算表」で算出した【c】(事業後)の値をそのまま入力してください。 ※裕度(安全率)を設定しない場合は、【事業前】のエネルギー使用量を入力してください</small>	【事業前】	【事業後】	10,000.0	17,000.0
	【事業前】	【事業後】				
	10,000.0	17,000.0				
	非化石の要件対象	<input type="checkbox"/>				
	CO ₂ 削減量*	12,000.000 (t-CO ₂ /年)				
	裕度*	<input type="radio"/> 裕度を設定する <input checked="" type="radio"/> 裕度を設定しない <small>裕度は、成果報告時の省エネルギー率を、交付申請時の省エネルギー率として設定するものです</small>				
	みなし省エネルギー量*	3,500.0 (kl/年)				
	みなし省エネルギー率*	35.0 %				
	原単位改善率*	35.00 %				
	みなし投資回収年*	10 (年)				
みなし経費あたり省エネルギー量*	100,000 (kl/億円)					

原単位申請の場合、「非化石の要件対象」はチェックしない

原単位申請の場合、「CO₂削減量」は0を入力する

原単位申請の場合、「裕度を設定する」は選択しない



エネルギー消費原単位改善率の申請の場合は、必ず事前にSIIにご相談ください。

4-3 (a)先進設備・システムの既存設備情報を登録する

「**2** 既存設備登録」ボタンから、(a)先進設備・システムの既存設備情報を登録します。

① 更新する設備に対応した既存設備のカテゴリを選択

更新する設備に対応した先進設備・システム 既存設備のみ入力してください。
 先進設備・システム 既存設備に対応した設備カテゴリを選択し、「カテゴリ追加」ボタンを押下すると設備が入力できます。
 設備カテゴリを複数登録(照明、空調、その他等)する場合は、上記を繰り返してください。
 同型番の機器は、台数をまとめて入力可能です。

4-1 設備カテゴリ **4-2**

--なし--

*は入力必須項目です。

設備情報一覧

4-3 ボイラ

機器名*	機器型番	台数	処分 制限 期間	使用 年数	仕様 (消費エネルギー量)/(単位)	仕様 (出力:能力)/(単位)	表示順変更	削除
Aボイラ	〇〇〇〇	2	8.0	8.0	20.00 kl	10.00 t	↑ ↓	<input type="checkbox"/>
Bボイラ	〇〇〇〇	1	8.0	8.0	50.00 kl	30.00 t	↑ ↓	<input type="checkbox"/>

行追加 1 / 1

その他設備

機器名*	機器型番	台数	処分 制限 期間	使用 年数	仕様 (消費エネルギー量)/(単位)	仕様 (出力:能力)/(単位)	表示順変更	削除
キュービクル式受電設備150kVA	〇〇〇〇	1	10.0	10.0	98,133.00 kW	150.00 kVA	↑ ↓	<input type="checkbox"/>

行追加 1 / 1

戻る

保存

4-1 設備カテゴリを選択します。

既存設備のカテゴリを【照明/空調/圧縮機/搬送・輸送/ボイラ/炉/ショーケース/射出成形機/コージェネレーション/レーザー加工機/その他設備】から選択します。

4-2 「カテゴリ追加」ボタンをクリックします。

4-3 選択したカテゴリが追加されたことを確認します。

※ 既存設備のカテゴリが複数ある場合は、**4-1** ~ **4-3** を繰り返し行ってください。

第4章 (a)先進設備・システム情報を登録する

② 既存設備の情報を入力 ※同一型番の機器はまとめて入力してください。

更新する設備に対応した先進設備・システム 既存設備のみ入力してください。
 先進設備・システム 既存設備に対応した設備カテゴリを選択し、「カテゴリ追加」ボタンを押下すると設備が入力できます。
 設備カテゴリを複数登録(照明、空調、その他等)する場合は、上記を繰り返してください。
 同型番の機器は、台数をまとめて入力可能です。

設備カテゴリ
 カテゴリ追加

* は入力必須項目です。

設備情報一覧

4-4		4-5		4-6		4-7		4-8		4-9		4-10		4-11		4-12
機器名*	機器型番	台数	処分制限期間	使用年数	仕様 (消費エネルギー量)/(単位)	仕様 (出力・能力)/(単位)	表示順変更		削除							
Aボイラ	〇〇〇〇	2	8.0	8.0	20.00 kl	10.00 t	↑	↓	<input type="checkbox"/>							
Bボイラ	〇〇〇〇	1	8.0	8.0	50.00 kl	30.00 t	↑	↓	<input type="checkbox"/>							

1 / 1

その他設備

機器名*	機器型番	台数	処分制限期間	使用年数	仕様 (消費エネルギー量)/(単位)	仕様 (出力・能力)/(単位)	表示順変更		削除
キューピカル式受電設備150kVA	〇〇〇〇	1	10.0	10.0	98,133.00 kW	150.00 kVA	↑	↓	<input type="checkbox"/>

1 / 1

カタログ等を参考にしてください。
 参考としたエビデンス資料を添付してください。

No.	登録情報	概要
4-4	機器名	既存設備の機器名を入力します。
4-5	機器型番	既存設備の機器型番を入力します。
4-6	台数	既存設備の台数を入力します。
4-7	処分制限期間	既存設備の処分制限期間を入力します。
4-8	使用年数	既存設備を使用していた年数を入力します。
4-9	仕様 (消費エネルギー量)/(単位)	既存設備の仕様(消費エネルギー量)/(単位)を入力します。
4-10	仕様 (出力・能力)/(単位)	既存設備の仕様(出力・能力)/(単位)を入力します。
4-11	表示順変更	表示の順番を変更したい場合にクリックします。 ※「↑」を押すと1つ上に上がります。「↓」を押すと1つ下に下がります。
4-12	削除	削除する場合は✓を入れます。 ※「保存」ボタンをクリックすると削除されます。

③ 入力した内容を確認

入力内容を確認し、「保存」ボタンより内容を保存してください。



一定時間(約60分)補助事業ポータルを操作しないと、自動でログアウトされ、作成中のデータが消えてしまう場合があります。

作業中はこまめに「保存」ボタンをクリックする等して、データを保存してください。

4-4 (a)先進設備・システムの導入予定設備情報を登録する

「**3** 導入予定設備登録」ボタンから、(a)先進設備・システムの導入予定設備情報を登録します。
 導入予定設備を型番マスタから選択し、導入する台数を入力※同一型番の機器はまとめて入力してください。

先進設備・システム 導入予定設備登録 画面

更新する設備に対応した先進設備・システム 導入予定設備のみ入力してください。
 型番マスタ検索ボタンを押下することで、メーカー、設備システム名、型番で検索できます。
 検索実行後、対象の設備情報行の「選択」ボタンを押下することで各項目に情報が登録されます。
 同一型番の機器は、台数をまとめて入力可能です。

※型番マスタで抽出した型番と見積書に記載の型番が異なる場合や一致しない場合には見積書の型番を入力してください。
 例) 型番マスタの型番が「ABC-123」と反映され、見積書の型番が「ABCD-123」の場合は、「ABCD-123」と入力してください。

設備情報一覧

*は入力必須項目です。

設備情報

4-13 型番検索* メーカー名 設備システム名 型番 型番(手入力) 製品種別 台数* 表示順変更 削除

型番マスタ検索

行追加

1 / 1

戻る 保存

4-13 「型番マスタ検索」ボタンをクリックし、「型番マスタ検索」画面を開きます。

型番マスタ検索

4-14

検索条件 検索実行

▼ 検索項目

メーカー ※株式会社等の法人格は入力せずに検索してください

設備システム名 ※設備システム名はメーカー発行のカタログ、仕様書等に記載のもののすべてか一部を入力し検索してください

型番 ※型番はメーカー発行のカタログ、仕様書等に記載のもののすべてか一部を入力し検索してください

検索実行

4-14 「メーカー」、「設備システム名」、「型番」を入力して、「検索実行」ボタンをクリックします。
 ※ 検索項目を空欄のままクリックすると、先進設備・システムとして登録された設備が全て表示されます。

検索結果

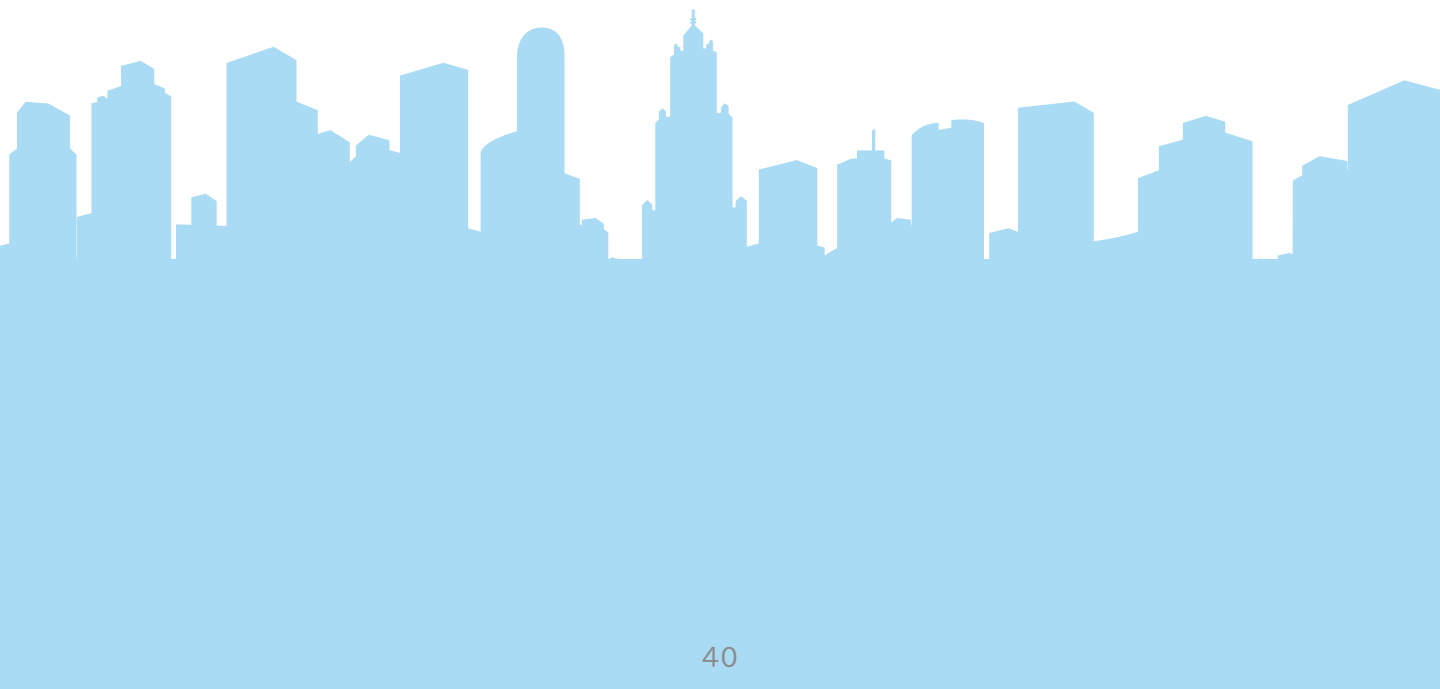
No.	選択	メーカー名	設備システム名	型番	製品種別
4-15 1	[選択]	工業株式会社			エネルギー負荷設備
2	[選択]	工業株式会社			エネルギー負荷設備
3	[選択]	工業株式会社			エネルギー負荷設備

4-15 表示された検索結果から、導入予定設備の「選択」をクリックします。

「型番マスタ検索」画面が閉じて、「先進設備・システム 導入予定設備登録 画面」に戻ります。
 選択した製品名が表示されるので、導入する「台数」を入力します。型番の異なる導入設備が複数ある場合は、「行追加」ボタンをクリックし、**4-13** ~ **4-15** を繰り返し行ってください。

第5章

(b) オーダーメイド型設備情報を登録する



5-1 ポータル画面の構成を確認する

P.17 **2-1** で「(b) オーダーメイド型設備」を選択した場合、P.27 「**⑤** bオーダーメイド型設備情報」ボタンから情報を登録します。

各種ボタンについて

No.	ボタン名	概要
①	編集	(b)オーダーメイド型設備の申請要件、省エネ効果、経費情報等を編集できます。(詳細P.42)
②	既存設備登録	(b)オーダーメイド型設備で更新する設備に対応した既存設備の登録ができます。(詳細P.44)
③	ファイル添付	(b)オーダーメイド型設備にかかるファイルの添付ができます。 ファイル添付の手順については、該当ページに記載されているマニュアルをご確認ください。 《添付書類》 <ul style="list-style-type: none"> ・「b-2-4 既存設備と導入設備の比較表(b)」 ・「添付33 原単位改善率計算シート」※原単位改善事業のみ

データ入力時に必要な書類

以下の書類等を手元に用意してから開始してください。

- ・「b-2-2-4 エネルギー使用量の原油換算表(b)」
- ・製品カタログ等
- ・見積書
- ・「b-2-4 既存設備と導入設備の比較表(b)」

次ページより、入力方法について説明します。

5-2 (b)オーダーメイド型設備情報を登録する

「**1 編集**」ボタンから、(b)オーダーメイド型設備の申請要件、省エネ効果、経費情報等を登録します。

<(b)オーダーメイド型設備情報編集 画面>

オーダーメイド型設備情報

1

1-1 先進性*

1-2 トップランナー機器導入予定*

1-3 トップランナー機器カテゴリ*

※192文字以内かつ4行以内で入力してください
※事業計画のアピールポイントを包括的に記載してください

該当

※「該当」を選択の場合は「トップランナー機器の見積依頼仕様書案」と「トップランナー機器の確認」を作成し、提出書類と一緒に綴じてください
※オーダーメイド型設備がトップランナー機器の場合は、「該当」を選択してください

選択可能

照明器具

電球

テレビジョン受信機

複写機

電子計算機

磁気ディスク装置

乗用自動車

貨物自動車

ビデオテープレコーダー

※トップランナー機器を導入予定の場合は該当するものを全て選択してください

選択済み

エアコンディショナー

2 オーダーメイド型設備申請要件

2-1 申請要件*

省エネルギー量

※申請要件を選択してください

3-1 エネルギー使用量 (kl) *

【事業前】 【事業後】

※「エネルギー使用量の原油換算表」の原油換算量は【事業前】と【事業後】と一致させてください
※裕度(安全率)を乗じた後の【事業後】エネルギー使用量を入力してください

3-2 非化石の要件対象

3-3 非化石使用量* (kl/年)

3-4 CO₂削減量* (t-CO₂/年)

3-5 裕度*

裕度を設定する
 裕度を設定しない

3-6 裕度を登録する理由*

裕度とは、成果報告時の省エネルギー量が、交付申請時の計画省エネルギー量を未達成とならないようにするために、安全率として設定するものです

①設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量、更新する範囲における既存設備の稼働条件ともに把握しており、計測機器や設備自体の性能誤差を考慮する

②更新する範囲における既存設備の稼働条件(負荷率、稼働時間等)を明確に把握できていない。

③設備更新により、設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量を把握できていない。

④設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量、更新する範囲における既存設備の稼働条件ともに把握できていない。

※「裕度を設定する」を選択した場合は、①～④のいずれかを選択してください
※裕度設定についての詳細は、公募要領の「交付申請時の裕度設定・成果報告時の補正計算」をご参照ください

4 オーダーメイド型設備経費情報

4-1 【1年目経費】*

	補助事業に要する経費(円)	補助対象経費(円)	補助金額(円)	最大補助金額参考例(円)	表示経費の最新化
設計費	<input type="text" value="3,000,000"/> (円)	<input type="text" value="3,000,000"/> (円)	<input type="text" value="1,500,000"/> (円)	1,500,000 (円)	<input type="checkbox"/>
設備費	<input type="text" value="1,000,000"/> (円)	<input type="text" value="1,000,000"/> (円)	<input type="text" value="500,000"/> (円)	500,000 (円)	<input type="checkbox"/>
工事費	<input type="text" value="0"/> (円)	<input type="text" value="0"/> (円)	<input type="text" value="0"/> (円)	0 (円)	<input type="checkbox"/>
消費税	<input type="text" value="400,000"/> (円)	<input type="text" value="0"/> (円)	<input type="text" value="0"/> (円)		<input type="checkbox"/>
合計	4,400,000 (円)	4,000,000 (円)	2,000,000 (円)		

※「裕度を設定する」を選択した場合は、①～④のいずれかを選択してください
※裕度設定についての詳細は、公募要領の「交付申請時の裕度設定・成果報告時の補正計算」をご参照ください

各項目の経費を入力してください
複数年度事業の場合は、当該年度の事業費について入力してください
補助金額は1円未満切り捨てで入力してください
見積書は導入設備区分毎に作成してください
(b)オーダーメイド型設備の経費を入力してください
その他の導入設備区分にかかる費用は含まないでください

戻る

2-1で「原単位改善率」を選択した場合は表示が異なる

複数年度事業の場合、「経費情報」は年度ごとに入力してください。

複数年度事業

4 【4年目経費】*

	補助事業に要する経費(円)	補助対象経費(円)	補助金額(円)	最大補助金額参考例(円)
設計費	<input type="text" value="0"/> (円)	<input type="text" value="0"/> (円)	<input type="text" value="0"/> (円)	0 (円)
設備費	<input type="text" value="282,000,000"/> (円)	<input type="text" value="282,000,000"/> (円)	<input type="text" value="141,000,000"/> (円)	141,000,000 (円)
工事費	<input type="text" value="0"/> (円)	<input type="text" value="0"/> (円)	<input type="text" value="0"/> (円)	0 (円)
消費税	<input type="text" value="28,200,000"/> (円)	<input type="text" value="0"/> (円)	<input type="text" value="0"/> (円)	
合計	310,200,000 (円)	282,000,000 (円)	141,000,000 (円)	

項目	No.	登録情報	概要
導入技術	1-1	先進性	先進性を入力します。 ※ 事業計画のアピールポイントを包括的に入力してください。
	1-2	トップランナー機器導入予定	トップランナー機器導入予定【該当/非該当】を選択します。 ※ 【該当】を選択した場合は、1-3 で機器カテゴリをすべて選択してください。
要件申請	2-1	申請要件	申請要件を【省エネルギー率/省エネルギー量/原単位改善率】から選択します。
省エネ効果	3-1	エネルギー使用量	【事業後】のエネルギー使用量を入力します。 ※ [添付6 エネルギー使用実績の確証]を根拠として作成した、「b-2-2-4 エネルギー使用量の原油換算表」で算出した【c】(事業後)の値をそのまま入力してください。 ※ 【事業前】は P.25 14-1 で入力した値が反映されています。
	3-2	非化石の要件対象	非化石化を図る事業を申請する場合はチェックし、3-3に「非化石使用量」を入力します。 ※ 「非化石使用量」は「b-2-2-4 エネルギー使用量の原油換算表」と一致させてください。 ※ 「非化石使用量」の考え方については、公募要領P.69を参照してください。
	3-4	CO ₂ 削減量	CO ₂ の削減量を入力します。 ※ 「CO ₂ 削減量」は「b-2-2-4 エネルギー使用量の原油換算表」の「K 想定温室効果ガス削減量(CO ₂ 削減量)」と一致させてください。 ※ 負の数(マイナス値)の場合は0を入力してください。
	3-5	裕度	(b)オーダーメイド設備の省エネ効果に裕度を設定する場合はチェックします。 ・ 裕度を設定する場合、3-6 の登録理由を①～④のいずれかを選択してください。 ※ 裕度設定の考え方については、公募要領P.35を参照してください。
経費情報	4-1 4-1	1年目経費	【1年目経費】を費目ごとに入力します。 ※ 「1-2 所要資金計画」をもとに、補助事業に要する経費、補助対象経費を費目ごとに入力してください。 ※ 上記で入力した補助対象経費に、P.17 2-2 で選択した補助率をかけて補助金額を算出し、入力してください。 ※ 補助事業に要する経費、補助対象経費の考え方については、公募要領P.30を参考にしてください。 ※ 複数年事業の場合は、年度ごとに入力してください。

「原単位改善率」の要件で申請する場合

2-1 で申請要件を「原単位改善率」を選択すると、3 は以下のように表示されますので、「原単位改善率計算シート」をもとに、該当の項目を入力してください。

The screenshot shows the application form with the following fields and callouts:

- 申請要件:** 原単位改善率 (Selected)
- エネルギー使用量 (k):** 10,000.0 (事業前), 17,500.0 (事業後)
- 非化石の要件対象:** (Callout: 原単位申請の場合、「非化石の要件対象」はチェックしない)
- CO₂削減量:** 12,000,000 (t-CO₂/年)
- 裕度:** 裕度を設定しない (Callout: 原単位申請の場合、「CO₂削減量」は0を入力する)
- みなし省エネルギー量:** 1,500.0 (k/年)
- みなし省エネルギー率:** 15.0 (%)
- 原単位改善率:** 15.000 (%)
- みなし投資回収年:** 10.0 (年) (Callout: 原単位申請の場合、「裕度を設定する」は選択しない)
- みなし経費あたり省エネルギー量:** 1,000.0 (k/億円)



エネルギー消費原単位改善率の申請の場合は、必ず事前にSIIにご相談ください。

5-3 (b)オーダーメイド型設備の既存設備情報を登録する

「**2** 既存設備登録」ボタンから、(b)オーダーメイド型設備の既存設備情報を登録します。

① 更新する設備に対応した既存設備のカテゴリを選択

更新する設備に対応したオーダーメイド型設備 既存設備のみ入力してください。
 オーダーメイド型設備 既存設備に対応した設備カテゴリを選択し、「カテゴリ追加」ボタンを押下すると設備が入力できます。
 設備カテゴリを複数登録(照明、空調、その他等)する場合は、上記を繰り返してください。
 同型番の機器は、台数をまとめて入力可能です。

6-1 設備カテゴリ

6-2 カテゴリ追加

* は入力必須項目です。

設備情報一覧

6-3 射出成形機

機器名*	機器型番	台数	処分 制限 期間	使用 年数	仕様 (消費エネルギー量) / (単位)	仕様 (出力:能力) / (単位)	表示順変更	削除
射出成型機B	○○○○	3					↑ ↓	□
		1 / 1						
<input type="button" value="行追加"/>								

レーザー加工機

機器名*	機器型番	台数	処分 制限 期間	使用 年数	仕様 (消費エネルギー量) / (単位)	仕様 (出力:能力) / (単位)	表示順変更	削除
レーザー加工機C	○○○○						↑ ↓	□
		1 / 1						
<input type="button" value="行追加"/>								

6-1 設備カテゴリを選択します。

既存設備のカテゴリを【照明/空調/圧縮機/搬送・輸送/ボイラ/炉/ショーケース/射出成形機/コージェネレーション/レーザー加工機/その他設備】から選択します。

6-2 「カテゴリ追加」ボタンをクリックします。

6-3 選択したカテゴリが追加されたことを確認します。

※ 既存設備のカテゴリが複数ある場合は、**6-1** ~ **6-3** を繰り返し行ってください。

第5章 (b)オーダーメイド型設備情報を登録する

② 既存設備の情報を入力 ※同一型番の機器はまとめて入力してください。

更新する設備に対応したオーダーメイド型設備 既存設備のみ入力してください。
 オーダーメイド型設備 既存設備に対応した設備カテゴリを選択し、「カテゴリ追加」ボタンを押すと設備が入力できます。
 設備カテゴリを複数登録(照明、空調、その他等)する場合は、上記を繰り返してください。
 同型番の機器は、台数をまとめて入力可能です。

設備カテゴリ
 レーザー加工機

* は入力必須項目です。

設備情報一覧

機器名*	機器型番	台数	処分制限期間	使用年数	仕様 (消費エネルギー量)/(単位)	仕様 (出力:能力)/(単位)	表示順変更	削除
射出成型機B	0000	3					↑ ↓	<input type="checkbox"/>
		1 / 1						

レーザー加工機

機器名*	機器型番	台数	処分制限期間	使用年数	仕様 (消費エネルギー量)/(単位)	仕様 (出力:能力)/(単位)	表示順変更	削除
レーザー加工機C	0000						↑ ↓	<input type="checkbox"/>
		1 / 1						

カタログ等を参考に
 参考としたエビデンス資料を

No.	登録情報	概要
6-4	機器名	既存設備の機器名を入力します。
6-5	機器型番	既存設備の機器型番を入力します。
6-6	台数	既存設備の台数を入力します。
6-7	処分制限期間	既存設備の処分制限期間を入力します。
6-8	使用年数	既存設備を使用していた年数を入力します。
6-9	仕様 (消費エネルギー量)/(単位)	既存設備の仕様(消費エネルギー量)/(単位)を入力します。
6-10	仕様 (出力・能力)/(単位)	既存設備の仕様(出力・能力)/(単位)を入力します。
6-11	表示順変更	表示の順番を変更したい場合にクリックします。 ※「↑」を押すと1つ上に上がります。「↓」を押すと1つ下に下がります。
6-12	削除	削除する場合は✓を入れます。 ※「保存」ボタンをクリックすると削除されます。

③ 入力した内容を確認

入力内容を確認し、「保存」ボタンより内容を保存してください。



一定時間(約60分)補助事業ポータルを操作しないと、自動でログアウトされ、作成中のデータが消えてしまう場合があります。

作業中はこまめに「保存」ボタンをクリックする等して、データを保存してください。

第6章

(c)指定設備情報を登録する

※本書で説明する「(c)指定設備」とは、「(c)指定設備のうち電化や脱炭素目的の燃料転換を伴う設備等の導入」のことを指します。

※本事業の(c)指定設備の申請においては、申請者が各自の計算ロジックで省エネルギー量を算出してください(独自計算)。ポータルに導入予定設備の稼働時間等を入力することによって、設備(型番)ごとに自動的に計算される指定計算での申請は出来ませんのでご注意ください。

6-1 ポータル画面の構成を確認する

P.17 **2-1**で「(c)指定設備」を選択した場合、P.27「**6**c 指定設備情報」ボタンから情報を登録します。

各種ボタンについて



指定設備情報詳細画面

区分C単体の場合は、【c-2-1】事業概要は提出不要の為、ポータルから出力されません。

戻る

1 編集 2 見積・発注情報登録 3 計算裕度登録 4 整合性チェック

指定設備情報

管理情報	申請書番号	BAF231-00- XXXXXXXXXX
電化を含む事業	電化	該当
指定設備省エネ効果	CO ₂ 削減量	150,000 (t-CO ₂ / 年)
	裕度	<input checked="" type="radio"/> 裕度を設定する <input type="radio"/> 裕度を設定しない <small>①設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量、更新する範囲における既存設備の稼働条件とも把握しており、計測機器や設備自体の性能誤差を考慮する。 ②の更新する範囲における既存設備の稼働条件(負荷率、稼働時間等)を明確に把握できていない。</small>

No.	項目名	概要
1	編集	(c)指定設備の設備情報の登録を行います。 (詳細については、本書P.48を参照してください)
2	見積・発注情報登録	(c)指定設備の見積金額、発注先情報の登録ができます。 (詳細については、本書P.56を参照してください)
3	計算裕度登録	(c)指定設備の省エネルギー量に対する裕度の登録ができます。 (詳細については、P.48を参照してください) ※ ①押下後の画面で裕度、及び裕度を登録する理由を選択した場合に表示されるボタンです。
4	整合性チェック	登録した指定設備情報の整合性をチェックします。 (詳細については、P.61を参照してください)

データ入力時に必要な書類

以下の書類を手元に用意してから開始してください。

- ・ 既存設備の仕様が分かる資料(銘板等)
- ・ 導入する補助対象設備の製品カタログ
- ・ 見積書

次ページより、入力方法について説明します。



一定時間(約60分)ポータルを操作しないと、自動でログアウトされ、作成中のデータが消えてしまう場合があります。
作業中はこまめに[保存]ボタンをクリックする等して、データを保存してください。

6-2 (c)指定設備情報を登録する

(c)指定設備共通

(a),(b),(d)との複合申請の場合

① 「**1 編集**」ボタンから、(c)指定設備情報を登録します。

<(c)指定設備情報編集 画面>

指定設備情報編集 画面

戻る 確認

* は入力必須項目です。

指定設備情報

1

1-1 電化* 該当 ▼

2

2-1 CO₂削減量* 150 (t-CO₂ / 年)

2-2 裕度* 裕度を設定する
 裕度を設定しない

裕度とは、成果報告時の省エネルギー量が、交付申請時の計画省エネルギー量を未達成とならないようにするために、安全率として設定するものです。

2-3 裕度を登録する理由* ①設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量、更新する範囲における既存設備の稼働条件ともに把握しており、計測機器や設備自体の性能誤差を考慮する。
 ②更新する範囲における既存設備の稼働条件(負荷率、稼働時間等)を明確に把握できていない。
 ③設備更新により、設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量を把握できていない。
 ④設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量、更新する範囲における既存設備の稼働条件ともに把握できていない。

※①～④のいずれかを選択してください
 ※裕度設定についての詳細は、公募要領の「交付申請時の裕度設定・成果報告時の補正計算」をご参照ください

3

3-1 ユーティリティ設備

産業ヒートポンプ

業務用給湯器

高性能ボイラ

高効率コージェネレーション

低炭素工業炉

その他高性能設備

その他高性能設備

工場・事業場型(I/II/IV)の(c)指定設備として「業務用ヒートポンプ給湯器」を申請する場合は、「業務用給湯器」にチェックを入れてください

戻る 確認

項目	No.	登録情報	概要
1	1-1	電化を含む事業	電化に該当する事業の【該当/非該当】を選択します。
<以下は、「導入設備区分(a),(b),(d)との複合申請」の場合のみ表示されます>			
2	2-1	CO ₂ 削減量	CO ₂ の削減量を入力します。 ※「CO ₂ 削減量」は「c-2-2-4 エネルギー使用量の原油換算表」の「K 想定温室効果ガス削減量(CO ₂ 削減量)」と一致させてください。 ※ 負の数(マイナス値)の場合は0を入力してください。
	2-2	裕度	(c)指定設備の省エネ効果に裕度を設定するか選択してください。 裕度を設定する場合、 2-3 の登録理由について①～④のいずれかを選択してください。 ※ 裕度設定の考え方については、公募要領P.35を参照してください。
3	—	導入対象設備区分	本事業で導入する設備のうち、(c)指定設備に該当する設備区分を選択してください。

② 選択および入力完了したら、[確認] → [保存]ボタンをクリックします。

6-2 (c)指定設備情報を登録する

(c)指定設備共通

- ③ 「指定設備情報詳細 画面」を最下部までスクロールし、「省エネルギー効果計算(総括)」に **3-1** で選択した設備区分が正しく表示されていることを確認してください。
- ④ データを入力する設備区分の[詳細]ボタンをクリックし、情報の登録および省エネルギー量計算を行います。

指定設備情報詳細 画面

区分C単体の場合は、【c-2-1】事業概要は提出不要の為、ポータルから出力されません。

戻る

編集 見積・発注情報登録 計算精度登録 整合性チェック

指定設備情報

管理情報 申請書番号 BAF231-00-XXXXXXXXXX

電化を含む事業 電化 該当

省エネルギー効果計算(総括)

No.	詳細	設備区分	事業実施前 原油換算使用量	事業実施後 原油換算使用量	省エネルギー量(原油換算)	裕度	計画省エネルギー量 (原油換算) 合計	削減率
1	【詳細】 産業ヒートポンプ	}			kl		kl	%
2	【詳細】 その他高性能設備				kl		kl	%
合計			0.000 kl	0.000 kl	0.000 kl	-	0.000 kl	%

チェックを入れた設備区分が表示されます

最下部までスクロール

- ⑤ 「設備区分情報詳細 画面」が表示されたら、以降の手順に沿って設備情報を登録します。

設備区分情報詳細 画面

戻る

1 導入予定設備登録 **2** 既存設備登録 **3** 稼働条件登録 整合性チェック

指定設備情報

No.	項目名	概要
1	導入予定設備登録	導入予定設備の選択、導入予定台数等を登録します。
2	既存設備登録	既存設備の製品名、台数等を登録します。
3	稼働条件登録	省エネルギー量計算に使用する統一条件として、稼働条件を登録します。

※ 上記3つの情報を登録後、既存設備、導入予定設備のエネルギー使用量を計算し、省エネルギー量の結果を確認します。

6-2 (c)指定設備情報を登録する

(c)指定設備共通

1. [導入予定設備登録]ボタン

※ここでは「産業ヒートポンプ」を例に説明します

- ① 「導入予定設備登録 画面」で、補助対象設備の「種別」を選択し、[確定]ボタンをクリックします。
- ② [型番マスタ検索]ボタンをクリックし、導入予定設備を選択します。
※型番マスタについては、P.52を参照してください。

導入予定設備登録 画面

戻る 保存

*は入力必須項目です。

指定設備情報

管理情報 申請書番号 BAF231-00- []

区分・分類

区分・分類 設備区分 産業ヒートポンプ
種別* 空冷ヒートポンプチラー 確定
※「種別」の選択が正しいかご確認ください(公募要領の「基準表」参照)

設備情報 型番マスタ 型番マスタ検索

型番マスタ検索

SIのホームページ内の補助対象設備一覧に登録されている型番情報が型番マスタに反映されるまで、お時間を要する場合がございます。数日経っても型番マスタに該当の型番が表示されない場合はSIまでご連絡ください。

閉じる

検索条件 検索実行

▼ 検索項目

設備区分	産業ヒートポンプ
種別	空冷ヒートポンプチラー
メーカー*	[] ※株式会社等の法人格は入力せずに検索してください
製品名	[] ※製品名はメーカー発行のカタログに記載のものすべてか一部を入力し検索してください
型番	[] ※型番はメーカー発行のカタログに記載のものすべてか一部を入力し検索してください 例:ABC123-LMNxyz → ABC123 で検索

検索実行

検索条件として「メーカー」、「製品名」、「型番」を入力して、[検索実行]ボタンをクリックします。
※ 検索条件のうち、「メーカー」は必須入力です。

検索結果

No.	選択	設備区分	種別	メーカー	製品名	型番	周波数	使用エネルギー
1	[選択]	産業ヒートポンプ	空冷ヒートポンプチラー	[]	[]	[]	[]	[]
2	[選択]	産業ヒートポンプ	空冷ヒートポンプチラー	[]	[]	[]	[]	[]
3	[選択]	産業ヒートポンプ	空冷ヒートポンプチラー	[]	[]	[]	[]	[]

表示された検索結果から、導入予定設備を探し、[選択]ボタンをクリックします。
「型番マスタ検索」画面が閉じて、「導入予定設備登録 画面」に戻ります。

6-2 (c)指定設備情報を登録する

(c)指定設備共通

複数年事業

- ③ 型番マスタから選択した製品名が表示されるので、導入する「台数」を入力し、[保存]ボタンをクリックします。
 ※複数年度事業の場合は「導入予定年度」をプルダウンから選択します。

設備情報

設備情報	型番マスタ	型番マスタ検索
	メーカー	■■■■■■■■■■
	製品名	■■■■■■■■■■
	型番	■■■■■■■■■■
	台数*	5 台 ※入力間違いがないように「見積書」に記載の台数との一致を確認してください
導入予定年度*	2024 年度	
基準要件	性能区分1	空気熱源／循環式
	基準値1	(COP) 3.00以上
	性能値1	(COP) 3.60
	備考	
その他仕様	加熱能力	85.00 kW
	消費電力	23.60 kW

戻る 保存

- ④ 「この内容で保存をしてよろしいですか？」のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
- ⑤ 「設備区分情報詳細 画面」に戻ります。
 下方へスクロールすると「導入予定設備一覧」に入力した設備情報が表示されています。

設備区分情報詳細 画面

戻る

導入予定設備登録 既存設備登録 符働条件登録

整合性チェック

指定設備情報

導入予定設備一覧

No.	詳細	種別	メーカー	製品名	型番	台数	導入予定年度	型番マスタ利用
1	[詳細]	空冷ヒートポンプチャラー	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	5	2024	✓
2	[詳細]	空冷ヒートポンプチャラー	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	3	2025	✓

既存設備一覧

No.	詳細	種別	メーカー	製品名	型番	台数
-----	----	----	------	-----	----	----

最下部までスクロール

※ 型番が異なる導入設備が複数ある場合は、画面左上の[導入予定設備登録]ボタンをクリックし、①からの手順を繰り返してください。

※ 複数年度事業の場合は、同一型番であっても「導入予定年度」ごとに分けて入力してください。

6-2 (c)指定設備情報を登録する

(c)指定設備共通

型番マスタの利用について

「型番マスタ」の検索結果に導入する設備が表示されない場合は、以下の各項目を参考にしてください。

1. 公募要領「3-1.補助対象設備」、及び同P.97以降の別表1「指定設備の設備区分と設備区分毎に定める基準表」を確認し、当該設備が本事業の申請基準を満たしているか確認してください。
2. 基準を満たしている場合は、「型番」の入力誤りがないか、確認してください。
3. 入力誤りがない場合は、型番の枝番部分を削除する、製品名で検索する等検索条件を変更して、再度検索してください。

※ 文字数の多い型番の場合は、型番名すべてを入力しなくても検索は可能です。

[例] カタログ表記の型番が「ABC1000-005」の場合、型番の一部(「ABC1000」、「ABC」等)で検索する等(検索結果の型番内“■”は、性能値や能力値に影響のない枝番等に該当する任意の文字として扱われます)

※ 検索結果に導入する設備の型番が複数表示された場合は、製品名や型番の()内に表記された諸条件を確認し、導入する設備の仕様と一致している設備を選択してください。

4. 入力誤りがなく検索結果に導入する設備が表示されない、又は検索結果がない旨のメッセージが表示される場合は、SIIのお問い合わせ窓口[03-5565-3840]にご連絡ください。

2. [既存設備登録]ボタン

※ここでは「産業ヒートポンプ」を例に説明します

- ① 「既存設備登録 画面」で、既存設備の「種別」を選択し、[確定]ボタンをクリックします。
- ② 「設備情報」の各項目を入力し、[保存]ボタンをクリックします。

 既存設備登録 画面

戻る 保存

* は入力必須項目です。

指定設備情報

管理情報 申請書番号 BAF231-00-■■■■■

区分・分類

区分・分類 設備区分 産業ヒートポンプ
種別* その他燃焼式加温設備 ▼ 確定

設備情報

メーカー ○○設備株式会社

製品名* 燃焼式加温設備

型番 ABC-9999999
※セット型番(複数の設備により構成されるセット販売品の型番)がある場合はセット型番を、
ない場合は室外機の型番を入力してください
※複数の型番名を入力しないでください

台数* 10 台

設置年* 2000年 ▼
※固定資産管理台帳に記載されている既存設備の設置年(取得年)を選択してください

その他仕様 加熱能力* ■■■ kW

戻る 保存

※ 型番が異なる既存設備が複数ある場合は、画面左上の[既存設備登録]ボタンをクリックし、①からの手順を繰り返してください。

※ 「設置年」が不明な場合は、設備を設置した建物が登記された年を選択してください。

6-2 (c)指定設備情報を登録する

(c)指定設備共通

3. [稼働条件登録]ボタン

※ここでは「産業ヒートポンプ」を例に説明します

① [稼働条件登録 画面]で、「エネルギー使用実績」の回答を選択します。

稼働条件登録 画面

戻る

*は入力必須項目です。

指定設備情報

管理情報	申請書番号	BAF231-00-██████
	事業所名称	〇〇工場
	設備区分	産業ヒートポンプ

エネルギー使用実績

エネルギー使用実績

エネルギー使用量が既存設備の使用実態に基づいているか確認した上で、実態に基づき登録しているか*

はい

エネルギー使用量が既存設備の使用実態に基づいているか確認し、「はい」を選択して保存してください
既存設備のエネルギー使用量は、事業所全体のエネルギー使用量を示す検針票や請求書等の実績値と比較し、事業所全体に対する割合が適切であるか確認してください

エネルギー使用量が既存設備の使用実態に基づいているか確認し、「はい」を選択してください。
※ 既存設備のエネルギー使用量は、事業所全体のエネルギー使用量を示す検針票や請求書等の実績値と比較し、事業所全体に対する割合が適切であるか確認してください。

② 「計算方法」で「独自計算」を選択、[稼働条件追加]ボタンをクリックし、稼働条件名を入力します。

※(Ⅰ)工場・事業場型および(Ⅱ)電化・脱炭素燃転型の場合、指定計算は選択できません

稼働条件

計算方法

計算方法*

独自計算

稼働条件追加

No.	削除選択	稼働条件名*	計算方法
1	<input type="checkbox"/>	8時間20日エリア	独自計算

戻る

保存

削除選択

「削除選択」にチェックを入れて保存すると、対象の稼働条件が削除されます。

③ 入力が完了したら、[保存]ボタンをクリックし、「設備区分情報詳細 画面」へ戻ります。

下方へスクロールすると「稼働条件」に入力した内容が表示されています。

設備区分情報詳細 画面

戻る

導入予定設備登録

既存設備登録

稼働条件登録

整合性チェック

指定設備情報

稼働条件

No.	稼働条件名	計算方法	要計算	省エネ計算			省エネルギー量 (原油換算)
				省エネ計算	導入予定件数	既存件数	
1	8時間20日エリア	独自計算		[一覧]	0	0	kl

下方へスクロール

※ 稼働条件が複数ある場合は、画面左上の[稼働条件登録]ボタンをクリックし、①からの手順を繰り返してください。

6-2 (c)指定設備情報を登録する

(c)指定設備共通

- ④ 稼働条件を登録後、「設備区分情報詳細 画面」-「稼働条件」の省エネ計算[一覧]をクリックし、「省エネ一覧画面」を表示します。

No.	稼働条件名	計算方法	要 素 計 算	省エネ計算			省エネルギー量 (原油換算)
				省エネ 計算	導入 予定 件数	既存 件数	
1	8時間20日エリア	独自計算		[一覧]	0	0	kl

- ⑤ 「省エネ計算登録(導入予定)」「省エネ計算登録(既存)」からそれぞれ選択し、「設備情報」「エネルギー使用量」を入力します。

省エネ計算一覧 画面

戻る

省エネ計算登録(導入予定) 省エネ計算登録(既存) 計算

指定設備情報

導入予定設備 省エネ計算登録 画面

戻る 保存

*は入力必須項目です。

指定設備情報

管理情報

申請書番号 BAF231-00-XXXXXXXXXX

事業所名称 ○○工場

設備区分 産業ヒートポンプ

種別・計算方法

既存/導入予定 既存/導入予定 導入予定

稼働条件 稼働条件 8時間20日

エネルギー使用量

原油換算量計算

エネルギー使用量入力後、「原油換算量計算」をクリックしてください。

月	エネルギー使用量 (kWh)	原油換算量 (kl)
4月	<input type="text" value="5,000.0"/>	1.114
5月	<input type="text" value="5,000.0"/>	1.114
6月	<input type="text" value="5,000.0"/>	1.114
7月	<input type="text" value="5,000.0"/>	1.114
8月	<input type="text" value="5,000.0"/>	1.114
9月	<input type="text" value="5,000.0"/>	1.114
10月	<input type="text" value="5,000.0"/>	1.114

エネルギー使用量(電気)

- ⑥ 入力完了後、[保存]ボタンをクリックすると「省エネ計算一覧 画面」へ戻ります。

6-2 (c)指定設備情報を登録する

(c)指定設備共通

- ⑦ 「省エネ計算登録(導入予定)」「省エネ計算登録(既存)」からそれぞれ入力完了したら、「省エネ計算一覧画面」で入力内容に誤り等がないか確認してください。

省エネ計算一覧画面

戻る

省エネ計算登録(導入予定) 省エネ計算登録(既存) 計算

指定設備情報

管理情報	申請書番号	BAF231-00-002170		
	事業所名称	〇〇工場		
	設備区分	産業ヒートポンプ		
稼働条件情報	稼働条件名	8時間20日エリア		
	計算方法	独自計算		
	省エネルギー量(原油換算量)	既存原油換算使用量(合計)	導入予定原油換算使用量(合計)	原油換算省エネルギー量(合計)
		118,572 kl	13,368 kl	105,204 kl

エネルギー使用量一覧

No.	詳細情報	要計算	既存/導入予定	種別	製品名 型番	台数	エネルギー使用量(原油換算量)						
							電気	ガス	油	熱	その他	非化石	計
1	[詳細]	○	導入予定			5	13,368 kl	0.000 kl	0.000 kl	0.000 kl	0.000 kl	0.000 kl	13,368 kl
2	[詳細]	○	既存	その他燃焼式加温設備	燃焼式加温設備 ABC-9999999	5	0.000 kl	0.000 kl	118,572 kl	0.000 kl	0.000 kl	0.000 kl	118,572 kl

「要計算」に「○」が表示されていないか確認してください。
「○」と表示されている場合は、再度、省エネ計算登録を行ってください。

- ⑧ 「設備区分情報詳細画面」に戻り、[整合性チェック]ボタンをクリックし、データの整合性チェックを行います。登録されている値が正しい場合は、「成功」のメッセージが表示されます。

設備区分情報詳細画面

成功: 整合性をチェックしました。問題ありません。

戻る

導入予定設備登録 既存設備登録 稼働条件登録 整合性チェック

指定設備情報

管理情報	申請書番号	BAF231-00- [REDACTED]		
	事業所名称	〇〇工場		
	設備区分	産業ヒートポンプ		

※ 導入対象設備区分が複数ある場合は、P.49 ④からの手順を繰り返してください。

6-3 (c)指定設備の見積・発注先情報を登録する

(c)指定設備共通

複数年事業

① 「② 見積・発注情報登録」ボタンをクリックし、見積・発注情報を登録します。

<見積・発注情報登録 画面>

見積・発注情報登録 画面

戻る 保存

※発注は必ず交付決定を受けた後に行ってください
 ※交付決定前に締結した契約に基づく設備の導入は、理由にかかわらず補助対象外です

* は入力必須項目です。

指定設備情報

管理情報	申請書番号 BAF231-00- XXXXXXXXXX
------	---

見積・発注情報

1 発注情報	1-1 設備区分* 高性能系イラ 1-2 発注先* 〇〇設備株式会社 <small>※3者見積りの結果、補助対象経費の合計が最も安価な会社を記載してください</small>
2 補助対象経費	設備費(税抜)* 20,000,000 円 <small>※見積書のうち、補助対象経費のみの金額を入力してください</small>
3 補助対象外経費	消費税 2,000,000 円 <small>※消費税(10%)は自動計算されます</small>
4 助事業に要する経費	合計* 22,000,000 円
5 法定耐用年数(処分制限期間)	最長の法定耐用年数(処分制限期間)* 15 年 <small>※財務省令の別表「減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年9月31日大蔵省令第15号)」を参照し、税務を司っている担当者に確認の上、入力してください</small>
6 見積情報	支払条件* 稼取翌月末までに現金払い <small>※割賦払いや手形払い等は認められません。見積書の支払条件が「現金払い」(金融機関による振込)になっているか確認してください</small>

見積比較

見積事業者名	見積事業者1	見積事業者2*	見積事業者3*
7		△△株式会社	◆◆株式会社
補助対象経費合計(税抜)		30,000,000	35,000,000

※発注先以外の2者分の情報を記入してください

確認事項

8 確認事項	確認事項* <input type="checkbox"/> ユーティリティ設備において、特定メーカー又は機種を指定しての見積依頼は行っていません。(仕様指定により結果的にメーカーや機種が限定されてしまう場合を含む。) <small>※ユーティリティ設備にて申請する場合、チェックを入れてください。</small>
---------------	--

<取得した見積書の確認事項>
 ・原則、公募要項の公開日(2024年9月19日)以降に作成された見積書であるか確認してください
 ・見積有効期限が交付申請日を含んでいるか確認してください
 ・補助対象経費と補助対象外経費が明確に判別できるように、分けて記載されているか確認してください
 ・見積書と製品カタログの記載を比較し、文字列が一致しているか確認してください
 ・入手した3者分の見積書は、交付申請書類として提出してください

戻る 保存

複数年事業の場合、「経費情報」は年度ごとに入力してください。

複数年事業

1年目

2 補助対象経費	設備費(税抜)* 20,000,000 円 <small>※見積書のうち、補助対象経費のみの金額を入力してください</small>
3 補助対象外経費	消費税 2,000,000 円 <small>※消費税(10%)は自動計算されます</small>
4 助事業に要する経費	合計* 22,000,000 円

2年目

2 補助対象経費	設備費(税抜)* 40,000,000 円 <small>※見積書のうち、補助対象経費のみの金額を入力してください</small>
3 補助対象外経費	消費税 4,000,000 円 <small>※消費税(10%)は自動計算されます</small>
4 助事業に要する経費	合計* 44,000,000 円

6-3 (c)指定設備の見積・発注先情報を登録する

(c)指定設備共通

複数年事業

項目	No.	登録情報	説明
1 発注情報	1-1	設備区分	導入する補助対象設備の設備区分をプルダウンメニューから選択します。
	1-2	発注先	導入する補助対象設備の発注先とした販売事業者名を入力します。
2 補助対象経費		設備費 (税抜)	見積書に記載された「補助対象経費」(設備費)を税抜で入力します。 ※ 複数年度事業の場合は、年度毎に入力してください。
3 補助対象外 経費		消費税	2 で入力した設備費(税抜)の消費税が自動入力されます。
4 補助事業に 要する経費		合計	「2 設備費(税抜)」と「3 消費税」を合計した金額を入力します。 ※ 複数年度事業の場合は、年度毎に入力してください。
5 法定耐用年数 (処分制限期間)		最長の法定耐用年数 (処分制限期間)	導入する補助対象設備の最長の法定耐用年数を入力します。 ※ 年数が不明な場合は税務担当者に確認してください。
6 見積情報		支払条件	導入する補助対象設備の見積書に記載された、「支払条件」を入力します。
7 見積比較		—	発注先以外の2者分の情報を入力してください。
8 確認事項		—	ユーティリティ設備にて申請する場合、内容を確認のうえ、チェックを入れてください。

② 入力が完了したら、[保存]ボタンをクリックします。

6-4 補助金額の登録を行う

(c)指定設備共通

複数年事業

- ① 「指定設備情報詳細 画面」の[編集]ボタンをクリックします。

指定設備情報詳細 画面

区分C単体の場合は、[c-2-1] 事業概要は提出不要の為、ポータルから出力されません。

戻る

編集 見積・発注情報登録 計算精度登録

整合性チェック

指定設備情報

- ② 「指定設備情報編集 画面」で「経費情報(全体)」の「補助事業に要する経費」と「補助対象経費」にも誤りがないか確認したうえで、[補助金計算]ボタンをクリックします。

指定設備情報編集 画面

戻る 確認

必ず必須項目です

指定設備情報

その他高性能設備

指定設備 経費情報 (設備区分別)	経費	補助事業に要する経費 (円)	補助対象経費 (円)		
	高効率空調		900,000	900,000	
	工作機械				

指定設備 経費情報 (全体)	経費	補助事業に要する経費 (円)	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)	
	設備費		900,000	900,000	300,000

戻る 確認

複数年事業の場合、「経費情報」は年度ごとに入力してください。

複数年事業

指定設備 経費情報 (全体)	経費	補助事業に要する経費 (円)	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)	
	1年目 設備費	20,000,000	20,000,000	10,000,000	補助金計算
	2年目 設備費	40,000,000	40,000,000	20,000,000	補助金計算
	事業全体 設備費	60,000,000	60,000,000	30,000,000	

- ③ 内容を確認したら、[確認] → [保存]ボタンをクリックします。

6-4 補助金額の登録を行う

(c)指定設備共通

複数年事業

- ① 「指定設備情報詳細 画面」の[編集]ボタンをクリックします。

指定設備情報詳細 画面

区分C単体の場合は、[c-2-1] 事業概要は提出不要の為、ポータルから出力されません。

戻る

編集 見積・発注情報登録 計算精度登録

整合性チェック

指定設備情報

- ② 「指定設備情報編集 画面」で「経費情報(全体)」の「補助事業に要する経費」と「補助対象経費」にも誤りがないか確認したうえで、[補助金計算]ボタンをクリックします。

指定設備情報編集 画面

戻る 確認

必ず必須項目です

指定設備情報

その他高性能設備

指定設備 経費情報 (設備区分別)	経費	補助事業に要する経費 (円)	補助対象経費 (円)		
	高効率空調		900,000	900,000	
工作機械					

指定設備 経費情報 (全体)	経費	補助事業に要する経費 (円)	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)	
	設備費		900,000	900,000	300,000

戻る 確認

複数年事業の場合、「経費情報」は年度ごとに入力してください。

複数年事業

指定設備 経費情報 (全体)	経費	補助事業に要する経費 (円)	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)	
	1年目 設備費	20,000,000	20,000,000	10,000,000	補助金計算
	2年目 設備費	40,000,000	40,000,000	20,000,000	補助金計算
	事業全体 設備費	60,000,000	60,000,000	30,000,000	

- ③ 内容を確認したら、[確認] → [保存]ボタンをクリックします。

6-5 省エネルギー計算における裕度を設定する

(c)指定設備共通

! 「指定設備情報編集 画面」の「裕度を設定する」、及び「裕度を登録する理由」を選択した場合のみ、表示される画面です。

① 「指定設備情報詳細 画面」の[計算裕度登録]ボタンをクリックし、計算裕度を登録します。

計算裕度登録 画面

戻る 保存

* は入力必須項目です。
指定設備情報

管理情報 申請書番号 BAF231-00-XXXXXXXXXX

※成果報告時に交付申請時の計画省エネルギー量を達成することが必要であるため、省エネルギー量の算出後、設備毎に計算誤差やデータ精度等を考慮し、
計算裕度を設定してください
※初期値として「10%」を設定しています。必要に応じて変更してください

導入対象	裕度
産業ヒートポンプ <input checked="" type="checkbox"/>	10%
業務用給湯器 <input type="checkbox"/>	
高効率ボイラ <input type="checkbox"/>	
高効率コージェネレーション <input type="checkbox"/>	
低炭素工業炉 <input type="checkbox"/>	
その他高性能設備 <input type="checkbox"/>	

計算裕度

戻る 保存

設備区分ごとに裕度を選択します。
※ 初期値として10%が設定されています。
必要に応じて変更してください。
※ 後から計算裕度を変更した場合は、省エネルギー量計算を再度実施してください。

② 入力が完了したら、[保存]ボタンをクリックします。

③ 「この内容で保存をしてよろしいですか？」のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

④ 「指定設備情報詳細 画面」を下方へスクロールし、「省エネルギー効果計算(総括)」に、選択した設備区分に登録した裕度が表示されていることを確認します。

指定設備情報詳細 画面

区分C単体の場合は、【c-2-1】事業概要は提出不要の為、ポータルから出力されません。

戻る

編集 見積・発注情報登録 計算裕度登録 整合性チェック

指定設備情報

費目合計 60,000,000円 6,000,000円 66,000,000円 15年

省エネルギー効果計算(総括)

No.	詳細	設備区分	事業実施前 原油換算使用量	事業実施後 原油換算使用量	省エネルギー量(原油換算)	裕度	計画省エネルギー量 (原油換算)	
							合計	削減率
1	[詳細]	産業ヒートポンプ	118,572 kl	32,311 kl	86,261 kl	10%	77,634 kl	65.4%
		合計	118,572 kl	32,311 kl	86,261 kl	-	77,634 kl	65.4%

下方へスクロール

登録した裕度が表示されます。

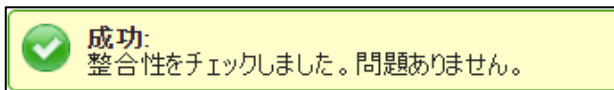
6-6 データの整合性チェックを行う

(c)指定設備共通

- ① 「指定設備情報詳細 画面」を表示します。
- ② [整合性チェック]ボタンをクリックし、データの整合性チェックを行います。

ボタンをクリックすると導入予定設備情報、既存設備情報、及び稼働条件情報のデータチェックが行われ、データの不一致等があった場合はエラーメッセージが表示されます。

- ➔ 登録されている値が正しい場合は、以下のメッセージが表示されますので、[戻る]ボタンをクリックします。



- ➔ 登録されているデータの整合性が確認できない場合は、表示されるエラーメッセージに従ってデータを修正し、再度本画面で「整合性チェック」を行ってください。

<エラーメッセージ例>

- ③ [戻る]ボタンをクリックし、「申請書詳細 画面」に戻ります。

第7章

(d)EMS機器情報を登録する



7-1 ポータル画面の構成を確認する

P.17 **2-1**で「(d)EMS機器(エネマネ)」を選択した場合、P.27「**7** d EMS機器情報」ボタンから情報を登録します。

各種ボタンについて

No.	ボタン名	概要
①	編集	(d)EMS機器(エネマネ)の申請要件、省エネ効果、経費情報を編集できます。(詳細P.64)
②	EMS計測・制御情報入力	EMS計測点数、及び制御点数の入力ができます。(詳細P.66)

データ入力時に必要な書類

以下の書類等を手元に用意してから開始してください。

- ・「d-3-2-4 エネルギー使用量の原油換算表(d)」
- ・製品カタログ等
- ・見積書
- ・エネルギー管理支援サービス契約書(案)

次ページより、入力方法について説明します。

7-2 (d)EMS機器情報を登録する

「**1 編集**」ボタンから、(d)EMS機器(エネマネ)の申請要件、省エネ効果、経費情報等を登録します。

<(d)EMS機器(エネマネ)情報編集 画面>

EMS機器情報

1 契約電力 **1-1** 契約電力* 100 kW

2 登録システム・機器情報 **2-1** 名称* 機器 **2-2** 番号 GEK-00010

3 エネルギー管理支援サービス入力情報 **3-1** 契約期間(予定)* 5 年

4 EMS機器申請要件 **4-1** 要件の範囲* 事業所全体

4-1 で「自ら決めた範囲」を選択すると表示される

4-2 要件の範囲* 自ら決めた範囲

自ら決めた範囲のエネルギー使用量* 15,000 kl

5 EMS機器省エネ効果

5-1 エネルギー使用量 (kl)*

【事業前】	【事業後】
10,000.0	9,500.0

※【エネルギー使用量の原油換算表】の原油換算量【事業前】と【事業後】と一致させてください
※裕度(安全率)を乗じた後の【事業後】エネルギー使用量を入力してください

5-2 EMS効果* 省エネルギー量 400.0 (kl)

5-3 運用改善効果* 省エネルギー量 100.0 (kl)

5-4 CO₂削減量* 1,000,000 (t-CO₂ / 年)

5-5 裕度*

裕度を設定する
 裕度を設定しない

裕度とは、成果報告時の省エネルギー量が、交付申請時の計画省エネルギー量を未達成とならないようにするために、安全率として設定するものです

①設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量、更新する範囲における既存設備の稼働条件ともに把握しており、計測機器や設備自体の性能誤差を考慮する。
 ②更新する範囲における既存設備の稼働条件(負荷率、稼働時間等)を明確に把握できていない。
 ③設備更新により、設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量を把握できていない。
 ④設備を更新する範囲の元々のエネルギー使用量、更新する範囲における既存設備の稼働条件ともに把握できていない。

※「裕度を設定する」を選択した場合は、①～④のいずれかを選択してください
※裕度設定についての詳細は、公募要領の「交付申請時の裕度設定・成果報告時の補正計算」をご参照ください

5-6 裕度を登録する理由*

各項目の経費を入力してください
複数年度事業の場合は、当該年度の事業費について入力してください
補助金額は1円未満切り捨てで入力してください

6 EMS機器経費情報

【1年目経費】*	補助事業に要する経費(円)	補助対象経費(円)	補助金額(円)	最大補助金額参考例(円)	表示経費の最新化
設計費	10,000,000 (円)	10,000,000 (円)	5,000,000 (円)	5,000,000 (円)	
設備費	10,000,000 (円)	10,000,000 (円)	5,000,000 (円)	5,000,000 (円)	
工事費	10,000,000 (円)	10,000,000 (円)	5,000,000 (円)	5,000,000 (円)	
消費税	3,000,000 (円)	0 (円)	0 (円)		
合計	33,000,000 (円)	30,000,000 (円)	15,000,000 (円)		

戻る 一時保存 確認

複数年事業の場合、「経費情報」は年度ごとに入力してください。

複数年事業

6 EMS機器経費情報

6-1 【3年目経費】*

	補助事業に要する経費(円)	補助対象経費(円)	補助金額(円)	最大補助金額参考例(円)
設計費	0 (円)	0 (円)	0 (円)	0 (円)
設備費	0 (円)	0 (円)	0 (円)	0 (円)
工事費	6,000,000 (円)	6,000,000 (円)	3,000,000 (円)	3,000,000 (円)
消費税	600,000 (円)	0 (円)	0 (円)	
合計	6,600,000 (円)	6,000,000 (円)	3,000,000 (円)	

第7章 (d)EMS機器情報を登録する

項目	No.	登録情報	概要
電力契約	1-1	契約電力	契約電力を入力します。 ※ 1年間(4月～3月)の最大需要電力のうちで、最も大きい値を入力してください。
システム登録	2-1	名称	名称(導入するシステム・機器)を選択します。 ※ 導入するシステム・機器が不明な場合は、契約するエネマネ事業者を確認してください。 ※ 選択すると自動で 2-2 に登録機器番号が表示されます。
サービス情報	3-1	契約期間(予定)	エネルギー管理支援サービスの契約期間(予定)の年数を入力します。
申請要件	4-1	要件の範囲	要件の範囲【事業所全体/自らが決めた範囲】を選択します。 ※ 「自らが決めた範囲」を選択した場合 4-2 に自らが決めた範囲の【事業前】のエネルギー使用量を入力し、【添付6】の補足資料として、【合理的説明が可能な計測・制御範囲図】を作成してください。
省エネ効果	5-1	エネルギー使用量	【事業後】のエネルギー使用量を入力します。 ※ [添付6 エネルギー使用量実績の確証]を根拠として作成した、「d-3-2-4 エネルギー使用量の原油換算表」で算出した【c】(事業後)の値をそのまま入力してください。 ※ 【事業前】は P.25 14-1 で入力した値が反映されています。
	5-2	EMS効果	EMS効果による省エネルギー量を入力します。 ※ 【d-3-2 省エネルギー計算】の【(1)省エネルギー量の算出根拠】との整合性を確認してください。
	5-3	運用改善効果	運用改善効果による省エネルギー量を入力します。 ※ 【d-3-2 省エネルギー計算】の【(1)省エネルギー量の算出根拠】との整合性を確認してください。
	5-4	CO ₂ 削減量	CO ₂ の削減量を入力します。 ※ 「CO ₂ 削減量」は「d-2-2-4 エネルギー使用量の原油換算表」の「K 想定温室効果ガス削減量(CO ₂ 削減量)」と一致させてください。
	5-5	裕度	(d)EMS機器の省エネ効果に裕度を設定する場合はチェックします。 ・ 裕度を設定する場合、5-6 の登録理由を①～④のいずれかを選択してください。 ※ 裕度設定の考え方については、公募要領P.35を参照してください。
経費情報	6-1	1年目経費	【1年目経費】を費目ごとに入力します。 ※ 「1-2 所要資金計画」をもとに、補助事業に要する経費、補助対象経費を費目ごとに入力してください。 ※ 上記で入力した補助対象経費に、P.17 2-2 で選択した補助率をかけて補助金額を算出し、入力してください。 ※ 補助事業に要する経費、補助対象経費の考え方については、公募要領P.30を参考にしてください。 ※ 複数年事業の場合は、年度ごとに入力してください。

7-3 EMS計測・制御情報を登録する

「**2** EMS計測・制御情報入力」ボタンから、EMSの計測情報と制御情報の情報を登録します。

<(d)EMS機器(エネマネ) EMS計測・制御点数入力 **計測** 画面>

EMS計測・制御点数入力_計測		
計測情報	計測点数_電力	空調_熱源* (0) 点 空調_空調機* (0) 点 空調_搬送* (0) 点 照明* (0) 点 コンセント* (0) 点 動力* (0) 点 電灯* (0) 点 冷凍・冷熱* (0) 点 その他* (0) 点 その他備考 ※ 100文字以内で入力してください ※ 計測情報 計測点数_電力 [その他] が1以上の場合は必ず入力してください
	計測点数_発電	自家発電* (0) 点 太陽光* (0) 点 風力* (0) 点 バイオマス* (0) 点 その他* (0) 点 その他備考 ※ 100文字以内で入力してください ※ 計測情報 計測点数_発電 [その他] が1以上の場合は必ず入力してください
	計測点数_売電	売電* (0) 点

計測点数を入力
※計測しない場合は「0」を入力

<(d)EMS機器(エネマネ) EMS計測・制御点数入力 **制御** 画面>

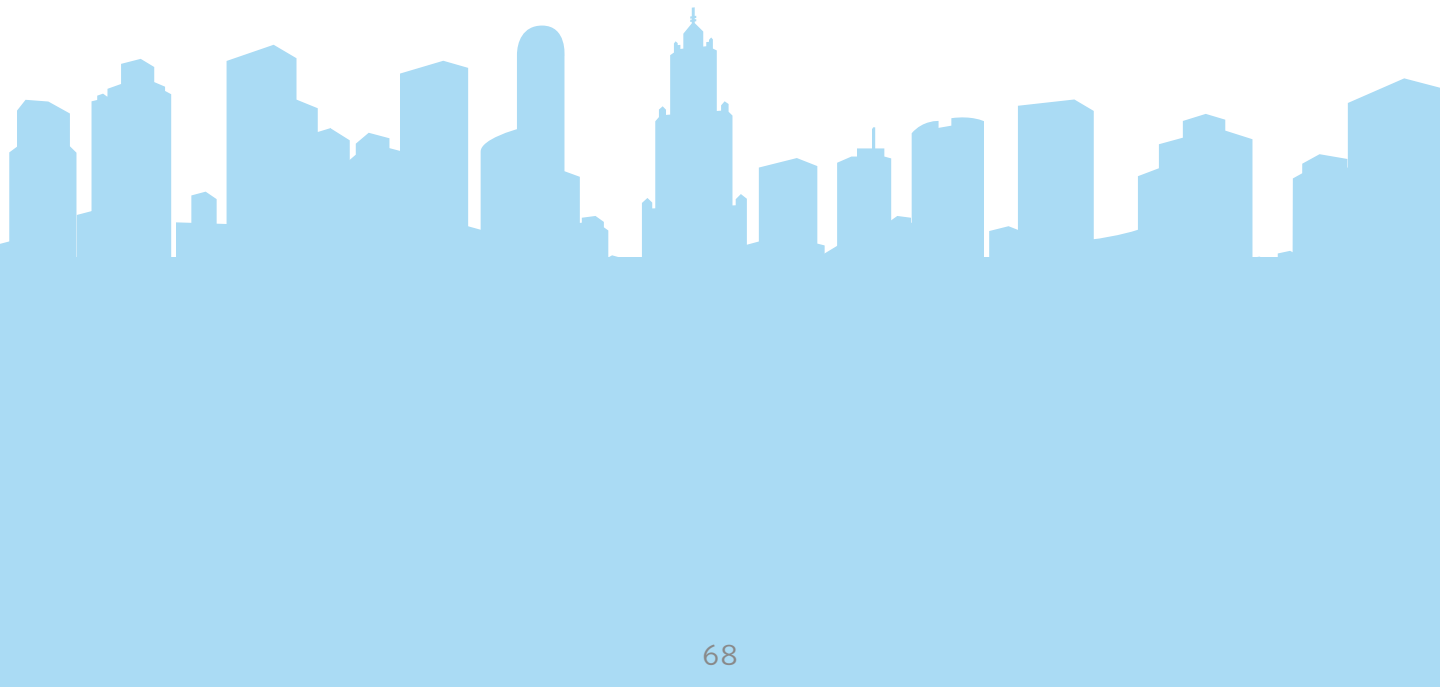
EMS計測・制御点数入力_制御		
制御情報	制御点数_電力	制御概要 ※ 100文字以内で入力してください ※ 制御情報 制御点数_電力 のいずれかが1以上の場合は必ず入力してください 空調_熱源* (0) 点 空調_空調機* (0) 点 空調_搬送* (0) 点 照明* (0) 点 コンセント* (0) 点 動力* (0) 点 電灯* (0) 点 冷凍・冷熱* (0) 点 その他* (0) 点 その他備考 ※ 100文字以内で入力してください ※ 制御情報 制御点数_電力 [その他] が1以上の場合は必ず入力してください
	制御点数_ガス	制御概要 ※ 100文字以内で入力してください ※ 制御情報 制御点数_ガスの 空調* (0) 点 自家発電* (0) 点 コジェネ* (0) 点 ボイラ* (0) 点 その他* (0) 点

制御点数を入力
※制御しない場合は「0」を入力

制御がある場合は
「制御概要」を入力

第8章

入力内容を最終確認し、書類を印刷する



8-1 入力内容を最終確認する

導入設備区分ごとの情報(P.32～)の入力が完了したら、もう一度「申請書詳細 画面」から「編集」ボタンを押して、全事業共通情報(P.16～)で入力した内容に誤りがないか確認し、「保存」操作を行います。

① 「申請書詳細 画面」の「編集」ボタンを押します。

申請書詳細 画面

編集 事業者追加・編集 実施場所詳細情報登録

a 先進設備・システム情報 b オーダーメイド型設備情報 c 指定設備情報 d EMS機器情報

② 入力された情報に誤りがないか確認します。

入力内容に誤りがあった場合は、全事業共通情報(P.16～)の該当箇所を参考に、正しい内容を入力してください。

③ 最下部までスクロールして、「全体経費情報」の「表示経費の最新化」ボタンを押します。

導入設備区分ごとに入力した金額が正しく反映されているか確認してください。

④ 全ての情報に問題がないことを確認し、「確認」→「保存」操作を行います。

【当年度経費】	補助事業に 要する経費(円)	補助対象経費(円)	補助金額(円)
設計費	8,100,000 (円)	900,000 (円)	450,000 (円)
設備費	367,900,000 (円)	367,900,000 (円)	305,180,000 (円)
工事費	129,000,000 (円)	12,000,000 (円)	6,000,000 (円)
消費税	0 (円)	0 (円)	0 (円)
経費合計	505,000,000 (円)	380,800,000 (円)	311,630,000 (円)
【その他年度経費】	補助事業に 要する経費(円)	補助対象経費(円)	補助金額(円)
(2年度目)	880,100,000 (円)	828,000,000 (円)	828,000,000 (円)
当年度以外合計	880,100,000 (円)	828,000,000 (円)	828,000,000 (円)
全年度経費合計	1,385,100,000 (円)	1,208,800,000 (円)	1,139,630,000 (円)

表示経費の最新化

戻る 一時保存 確認

「確認」または「保存」操作時に、エラーが表示された場合は、画面最上部のエラー内容に沿って、正しいデータに修正してから、改めて「確認」→「保存」操作を行ってください。

8-1 入力内容を最終確認する

ポータルへ入力したデータの内容を、背景に【仮】が表示された「印刷イメージ」で確認します。
ポータルへのデータ入力時に参照した資料を用意し、入力内容が正しいかどうか、よく確認してください。
※ 前のページまでの全ての項目を入力し、「保存」ボタンを押すことで、印刷ボタンが表示されます。
※ 画面に表示された(【仮】のついた)書類は、申請書として提出できませんので、注意してください。

印刷イメージの表示・印刷方法

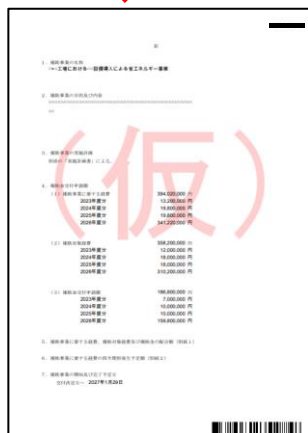
- ① 「申請書詳細 画面」を表示します。
- ② 「交付申請書類印刷」にある各ボタンを順にクリックし、書類の印刷イメージを表示します。
※ 表示されるボタンは、申請する事業の内容によって異なります。
- ③ データ入力時に参照した資料と見比べながら、入力データが正しいかどうか確認します。



まだ「入力完了」は押さないでください！
「入力完了」をクリックすると、データ修正ができなくなります。

ここで画面に表示される(仮)の書類は、印刷イメージを使った入力内容の確認用であり、**このままでは提出できません。**

- ※ 背景に「仮」が表示されたまま提出された書類は受け付けられません。
- ※ 提出用書類の印刷方法については、「8-2 提出用書類を印刷する」を参照してください。



8-2 提出用書類を印刷する

印刷イメージで入力したデータが正しいことを確認したら、データを確定し、提出用の書類を印刷します。

※ 提出用書類には(仮)が印字されません。

データを確定するには、ポータル画面右上にある「入力完了」ボタンをクリックします。

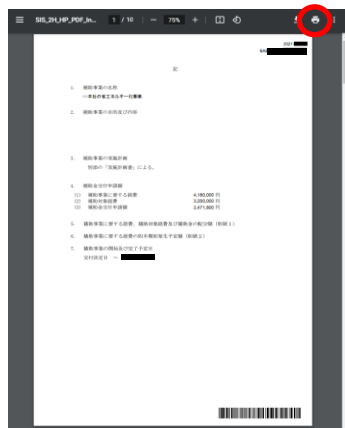
※ エラーメッセージが表示された場合は、該当の画面に戻ってデータを修正し、再度「入力完了」をクリックしてください。



「入力完了」をクリックすると入力データが確定され、それ以降は編集ができなくなります。
また「入力完了」は、全書類に対して1つしかありません。
必ず全ての書類の確認、修正を終えてからクリックしてください。

<申請書詳細画面>

「入力完了」をクリックすると、「交付申請書類印刷」の各ボタンの名称から、【仮】が消えます。各ボタンをクリックし、お使いのPDFソフトの印刷機能を使用して、書類を印刷してください。



→ PDFソフトの印刷ボタン(例)



PDFソフトの印刷機能を使用して、書類を印刷します。



これで、ポータルから印刷する書類の作成と印刷は完了です。

※ 「交付申請書類印刷」の各ボタンは、原則、事業に沿ったものが表示されています。表示されている全てのボタンから帳票を出力し、申請書類として提出をしてください。

お問い合わせ・相談・連絡窓口

一般社団法人 環境共創イニシアチブ

省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金

補助金申請に関するお問い合わせ窓口

(Ⅰ)工場・事業場型 ※先進設備

(Ⅱ)電化・脱炭素燃転型

TEL:03-5565-3840

(Ⅰ)工場・事業場型 ※オーダーメイド型設備

(Ⅳ)エネルギー需要最適化型

TEL:03-5565-4463

受付時間:平日の10:00~12:00、13:00~17:00

(土曜、日曜、祝日を除く)

通話料がかかりますのでご注意ください。



SIIホームページURL <https://sii.or.jp/>
事業ページURL <https://sii.or.jp/koujou05r/>

事業ページQRコード

